

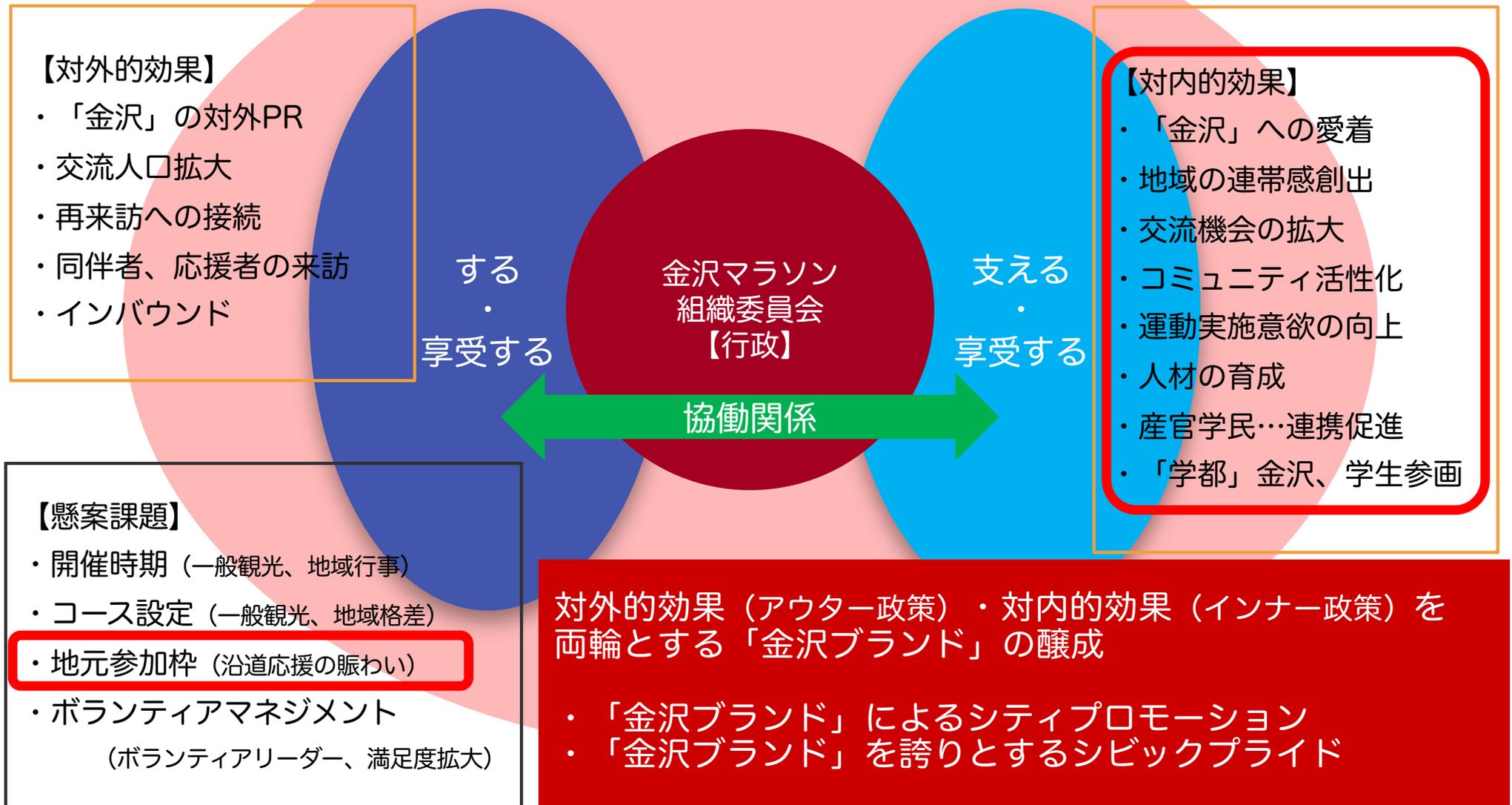
地域ランナー枠の創設による 地域コミュニティ活性化にむけて

金沢星稜大学
(金沢マラソン検証研究グループ)

西村 貴之 、 池田 幸應

【背景】 提唱してきた金沢マラソンのあり方

【スポーツ（マラソン）による協働のまちづくりの推進】



KM2021より「地域ランナー枠」を新設

【目的】 ※実行委員会資料より抜粋

コース沿道及び沿道外の町会連合会等における応援の機運の向上を図るため、地域コミュニティを代表して出場するランナーの優先出場枠を新設。地域の活力や一体感の醸成及びスポーツ交流を通じたまちづくりを促進。

組織委、地元密着で盛り上げ



各町会連合会の出場枠は基本の1人を配分した上で、町会加入世帯が1千世帯を超えるごとに1人を追加する。市内最多の約7240世帯が暮らす大徳地区は8人、町会加入が条件で、出場枠は計180人となる。申し込みは7月16～23日にインターネットで受け付ける。出場枠を超えた場合は、組織委が地区ごとに抽選し、同31日に本人に通知する。参加料は通常枠と同じ1万6千円。

金沢マラソンは大勢の市民による沿道での応援が魅力の一つ。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、計21カ所の応援スポットと応援メッセージに絞る。その他の沿道応援は自粛を要請している。このため、大会に対する市民の注目度が下が

市内62地区から180人



2021年6月5日 北國新聞 (朝刊)

「地元を勇気づけたい」

地域ランナー 102人決まる

10月31日に開催される第7回金沢マラソンで、新設された地域ランナー枠に102人の出場が決まった。各地区の世帯数に応じて出場枠を与える、全国の主要マラソン大会で初の試みとなる。12月までに参加が決定した市民ランナーからは「地元を勇気づける走りをしたい」と喜びの声が聞かれた。

地域ランナーは、町会連合会のエリアごとに1人以上の枠が設けられ、参加するには町会に加入していることが条件となる。7月16～23日に募集したところ、143人の応募があった。各町会連合会のエリアごとに抽選などを行った結果、102人の参加が決まった。

地域ランナー枠の参加者は、地域名が入ったナンバーカードを着けて出場する。伏見台校下に住む会社員池田孝之さん(57)は「横川2丁目」は「スタートから10キロほどで校下の近くを通る。地域の皆さんに恥ずかしくない走りを見せたい」と意気込みを語った。池田さんは、新型コロナウイルスの影響で中止となった前回は除く過去5回全てに出場しており、「今年は



金沢マラソン 新設枠

金沢マラソンの地域ランナーに決まった。池田さん

最初の抽選に外れただけに、地域ランナーとして皆勤を続けられるのはうれしい」と笑顔を見せた。森本地区の会社員房本江美子さん(47)は「観法寺町」は「朝のランニングで『頑張って』と地元の皆さんに声を掛けてもらっている。感謝の気持ちをかみしめて走りたい」と当日を心待ちにしている。

金沢マラソンは10月31日の本大会に加え、9月10日と10月10日にオンライン大会が行われる。オンライン大会はフル(42・195キロ)、ハーフ(21・0975キロ)、ファミリーラン(10キロ)、ラマソン(100キロ)の4種別が設けられている。

組織委は、市、北國新聞などで構成する。

2021年8月13日 北國新聞 (朝刊)

全国初 地域ランナー枠 金沢マラソン

10月31日に開催される第7回金沢マラソンの組織委員会は4日、地域ランナー枠を新設する方針を固めた。金沢市内にある62地区の町会連合会のエリアごとに、世帯数に応じて1～8人の出場枠を与える。全国の主要大会では初めての試みで、地元密着をアピールして市全体で大会を盛り上げる。

ることが懸念されるため、地区ごとの出場枠を設けた。地域ランナー枠で出場する選手は、地域名入りのナンバーカードを着けて出場する。コース沿いの地区だけではない

離れた地区でも大会への関心を高める狙いだ。組織委は「地域の一体感の醸成を後押しし、大会を盛り上げたい」としている。組織委は、市、北國新聞などによって構成する。

KM2022 「地域ランナー枠」の概略①

・参加資格

1) 2022年4月1日時点で金沢市内の町会に加入している方

※申込後に各校下町会連合会に加入確認

2) 当選結果の当該校下（地区）町会連合会への連絡を承諾すること

※氏名・加入町会名

3) 校下（地区）名入りアスリートビブスを装着のうえ、大会に参加すること

・申込方法

webエントリー ※町会連合会を通じての申込は「なし」

・申込期間

2022年4月19日（火）～5月25日（水）※一般のエントリー期間と同じ

（参考：2021大会）2021年7月16日（金）～7月23日（金） ※一般抽選結果発表（7/13）

・参加定員

500人（62校下・地区合計）※校下（地区）ごと定員は2022は「廃止」

（参考：2021大会）180人（62校下・地区合計）※校下（地区）世帯数に応じて定員を設定

・参加料金

15,000円 ※一般参加と同額



※表示イメージ

「地域ランナー枠」の概略②（2021→2022）

・地域ランナー枠の応募及び抽選結果

	2021大会	2022大会	増減
申込期間	7/16～7/23 ※一般抽選結果発表後	4/19～5/25 ※一般エントリー期間中	—
参加定員	180人 ※校下ごとに定員あり	500人 ※校下ごと定員は廃止	320人
応募者数	143人	1,291人	1,148人
抽選倍率	0.79	2.58	1.79
当選者 (入金者)	102人	452人	350人
当選がなかった 町連数 (全62校下中)	18校下	6校下	▲12校下
応募がなかった 町連数 (全62校下中)	17校下	4校下	▲13校下

リサーチクエッション（検討課題）

- 1) どんな人が「地域ランナー枠」で走ったのか？
 - 2) 「地域ランナー枠」で参加したランナーはどのような感想を抱いたのか？
 - 3) 各校下（地区）は「地域ランナー枠」をどのように受け止めたのか？
- ▷ 今後、「地域ランナー枠」はどのように運用・活用されていくべきか？

調査方法

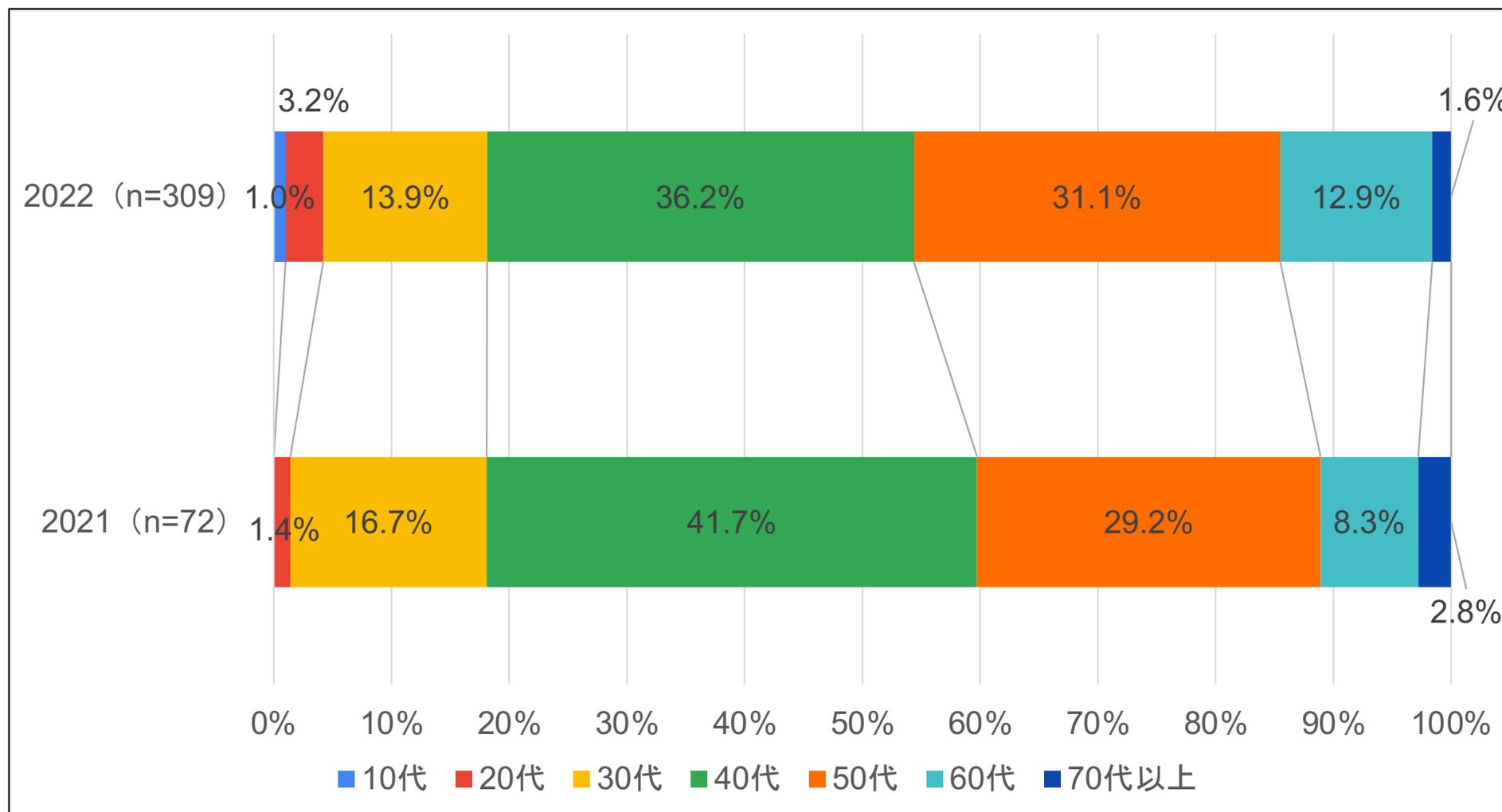
1) 「地域ランナー枠」出走ランナーに対するアンケート調査

- 地域ランナー枠出走ランナー全員を対象にメールで通知
>googleフォームでの回答を依頼
- 回答期間：11月1日（火）～11月18日（金）
※回答期限後の回答も受け付けた（最終回答：11月30日（水））
- 回答者309名／対象者452名【回答率：68.4%】

2) 各校下（地域）関係者（公民館を窓口）に対するアンケート調査

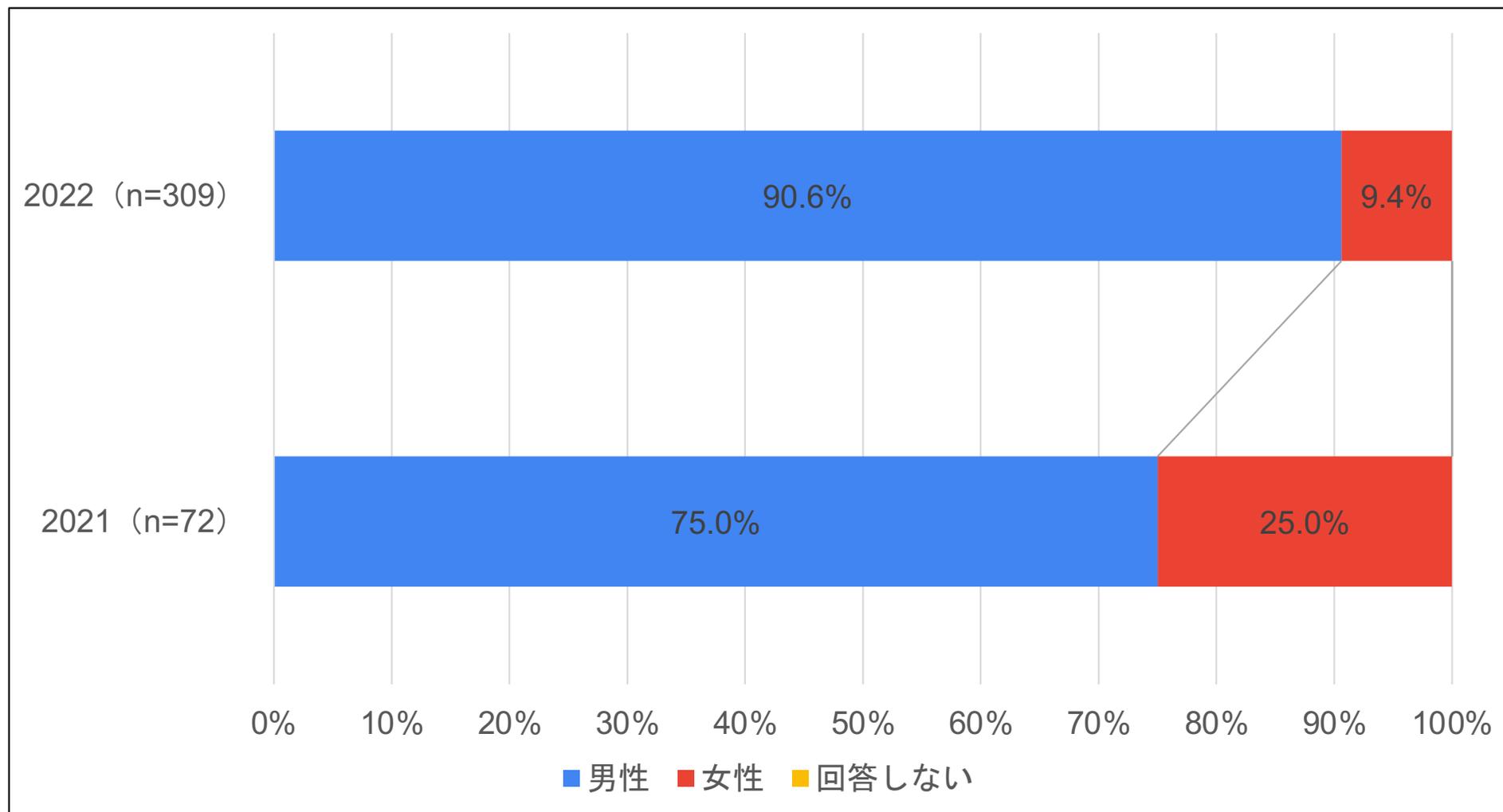
- 全62町会連合会の事務局（公民館）に紙の調査票を送付
>記載後に郵送での提出を依頼（各町連に2～3名の回答を想定）
- 回答期間：11月1日（火）～12月末日
- 調査票回収76枚／配付124枚【回答率：61.3%】

「地域ランナー枠」 出走ランナーの年代



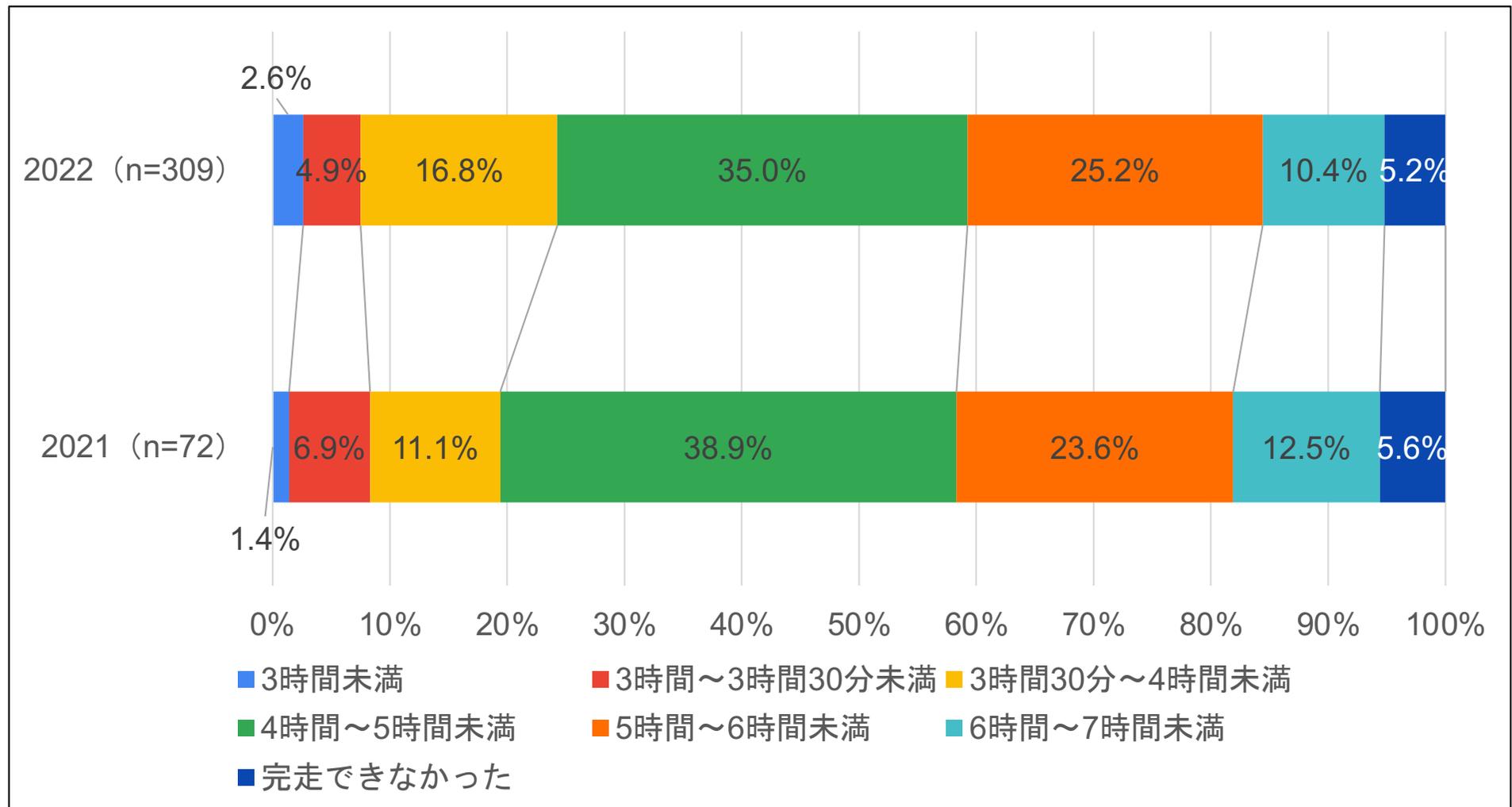
40代が減少、60代が増加

「地域ランナー枠」 出走ランナーの性別



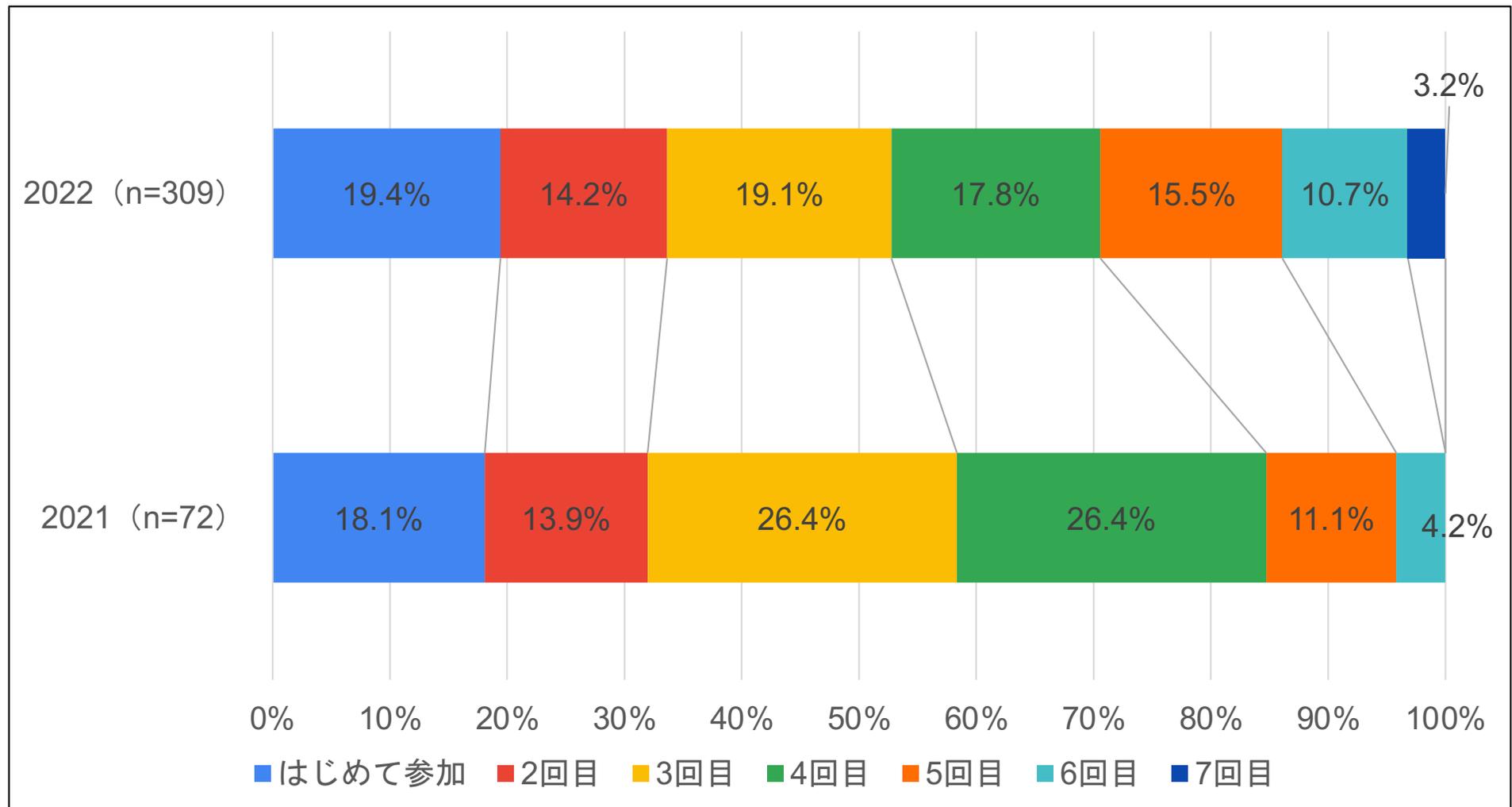
男性の割合が増加

「地域ランナー枠」 出走ランナーの成績（タイム）



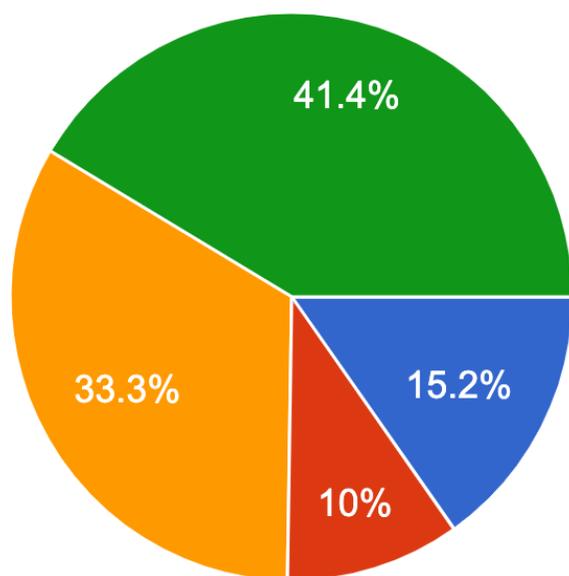
ランニング中・上級者層がやや増加した

「地域ランナー枠」出走ランナーの KM参加歴（ランナーとして）



80%以上がリピート参加者

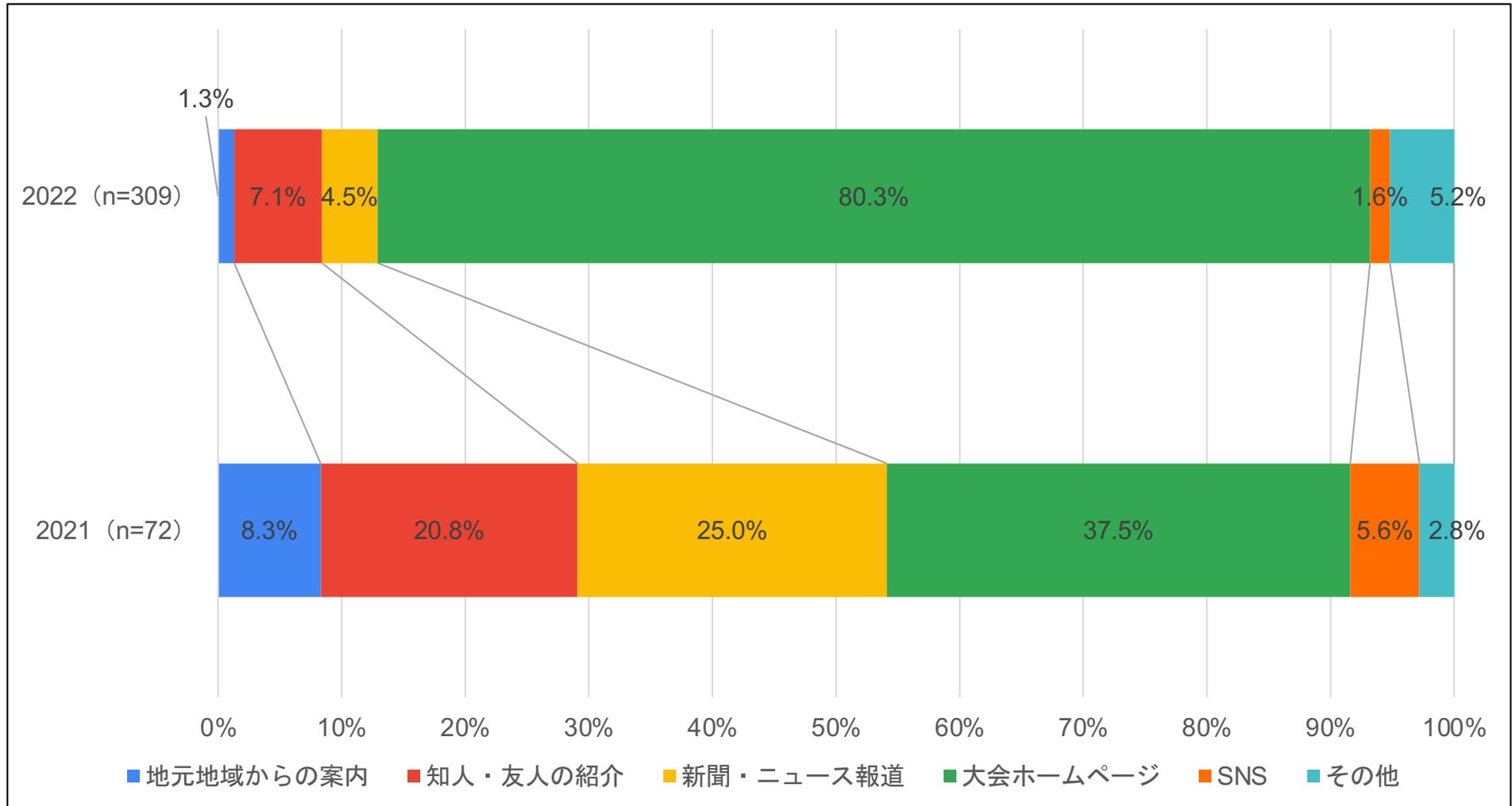
「地域ランナー枠」出走ランナーの2021大会への参加



- 地域ランナー枠から参加した
- 校下（地区）名入りアスリートビブスを希望・着用した
- 地域ランナー枠以外のランナーとして参加した
- 2021年大会はランナーとしては参加していない

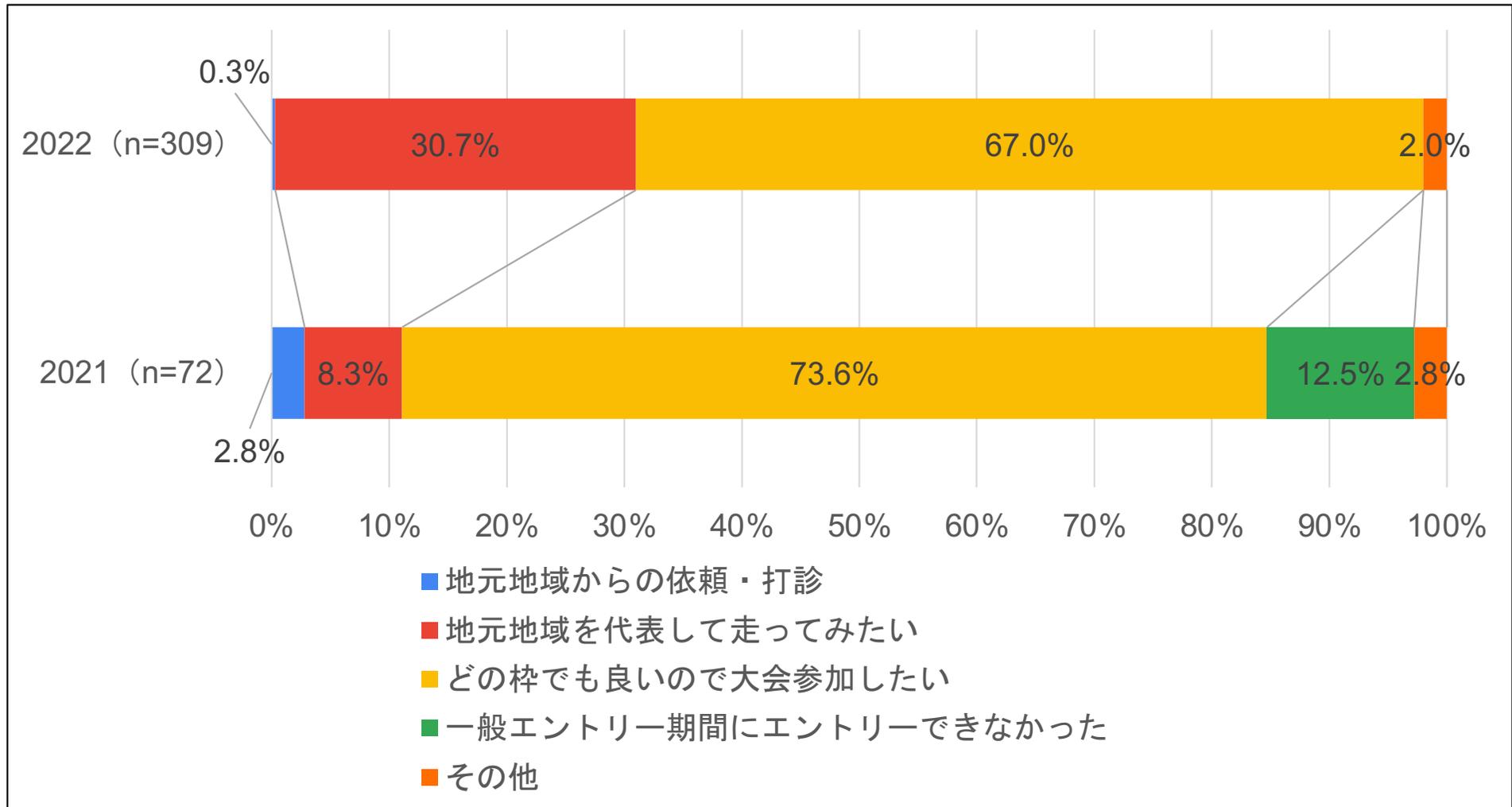
58.6%が2021大会からの連続参加者
15.2%が「地域ランナーとして」リピート参加

「地域ランナー枠」出走ランナーの 地域ランナー枠の認知手段



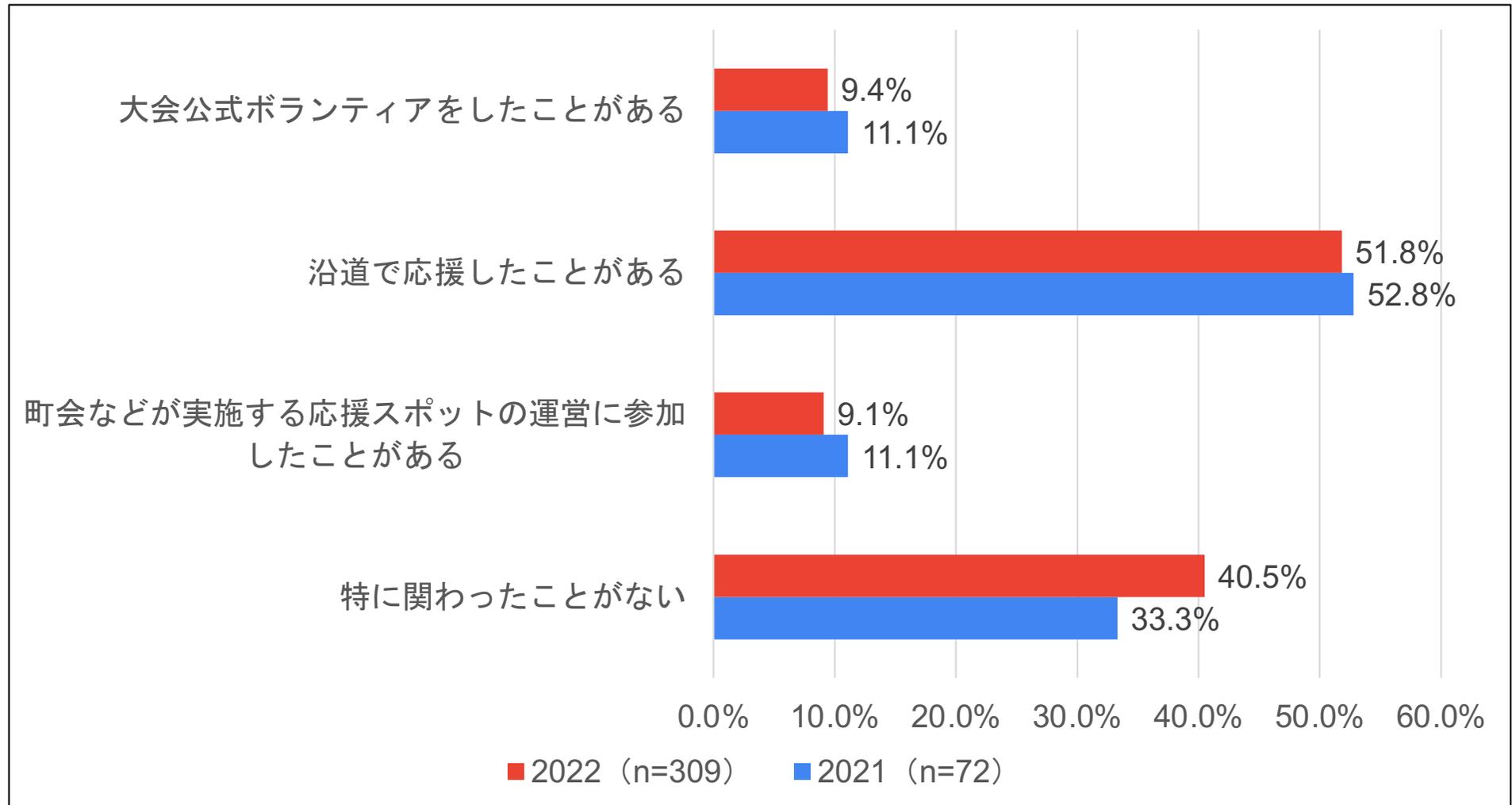
「大会ホームページ」での認知が増加（※エントリー方法の変更）

「地域ランナー枠」出走ランナーの 地域ランナー枠への申込動機



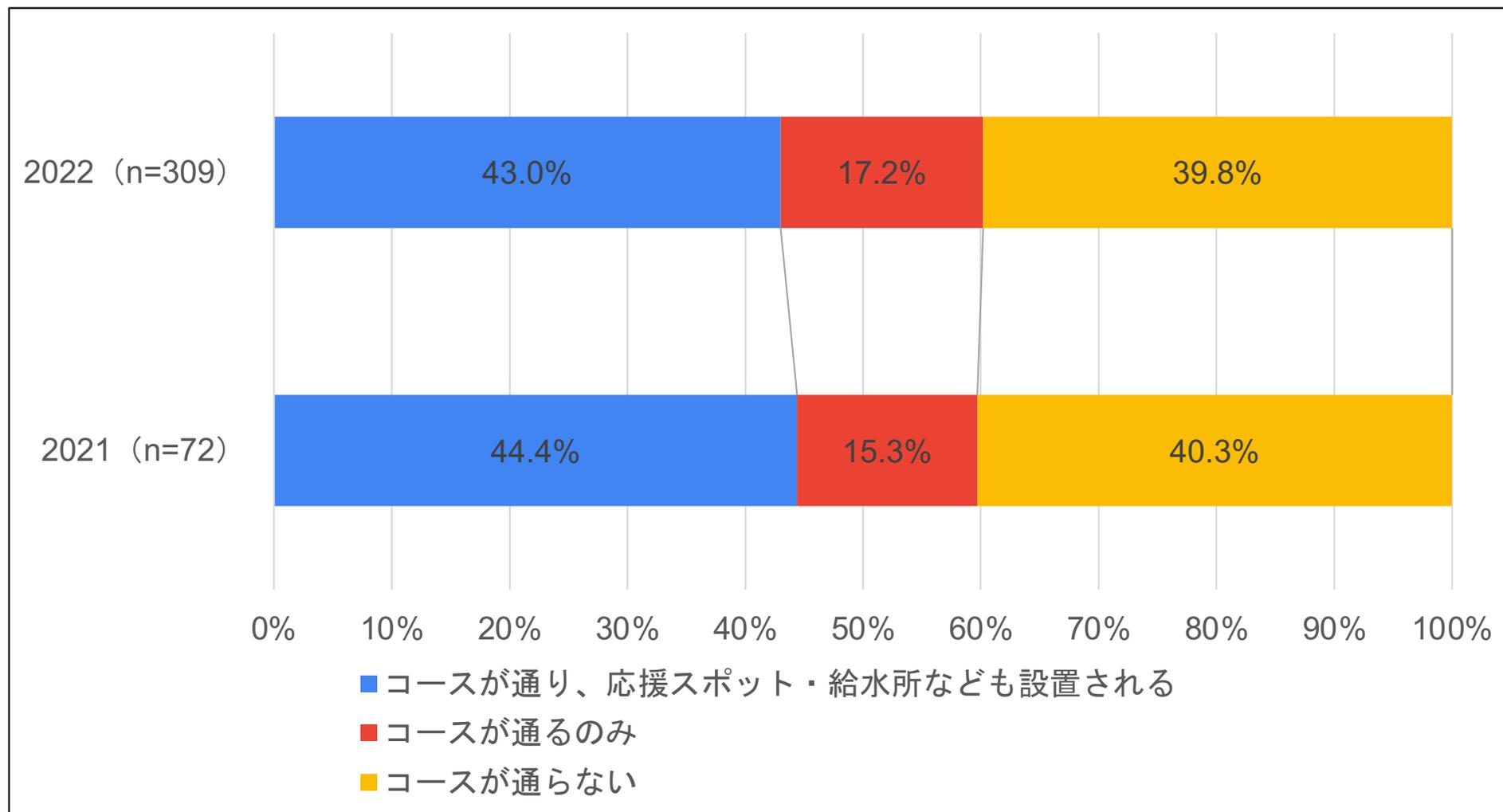
「どの枠でも良いので大会参加したい」層が多数派ではあるが、
「地元地域を代表して走ってみたい」層が増加した。

「地域ランナー枠」出走ランナーのこれまでのKMへの 「ランナー以外での」関わり



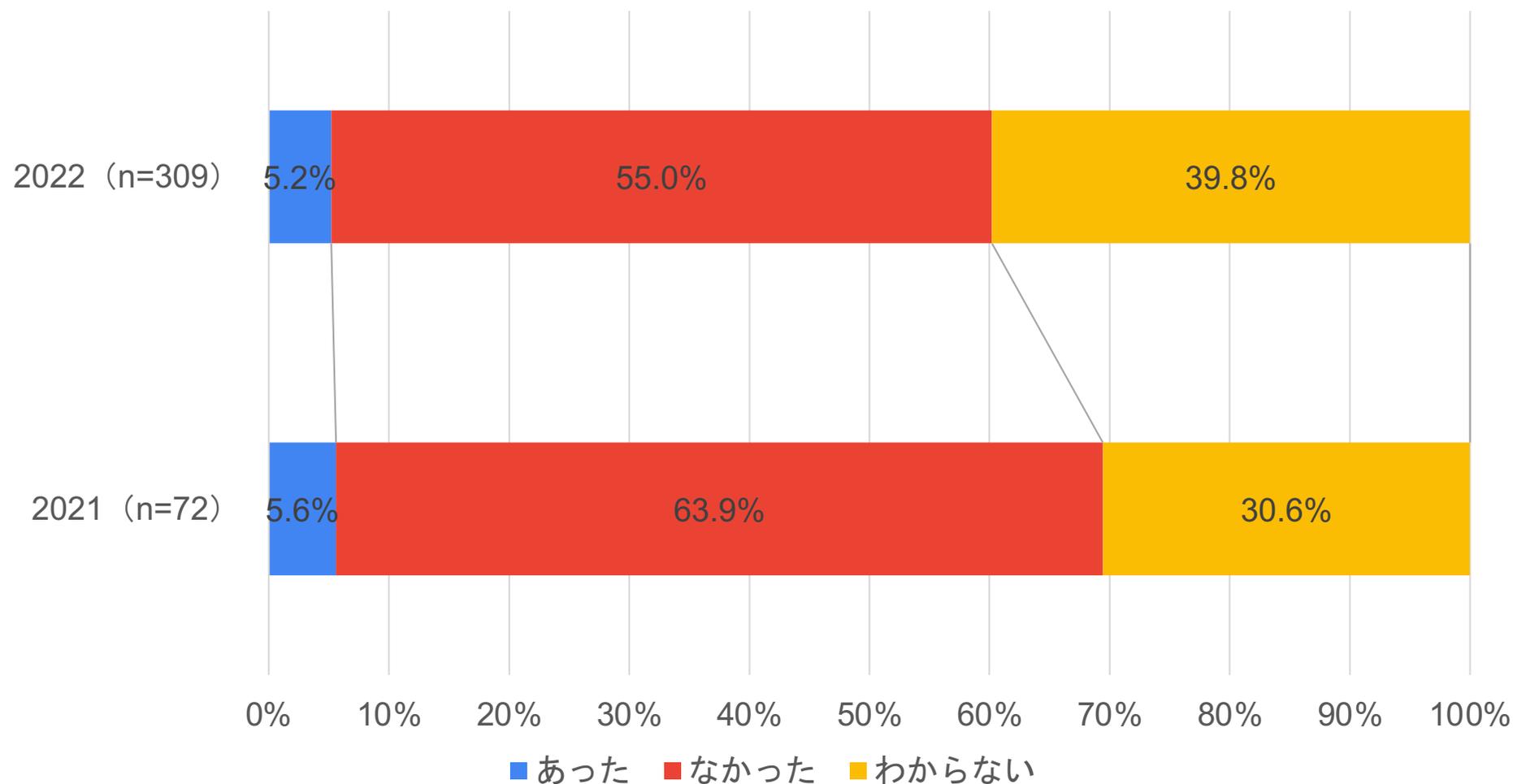
ボランティア、応援スポット運営経験者は少数派

「地域ランナー枠」 出走ランナーの地元校下とコースの関係



前年度からの大きな変動はなかった

地元校下（地域）での大会前の事前応援の取組み

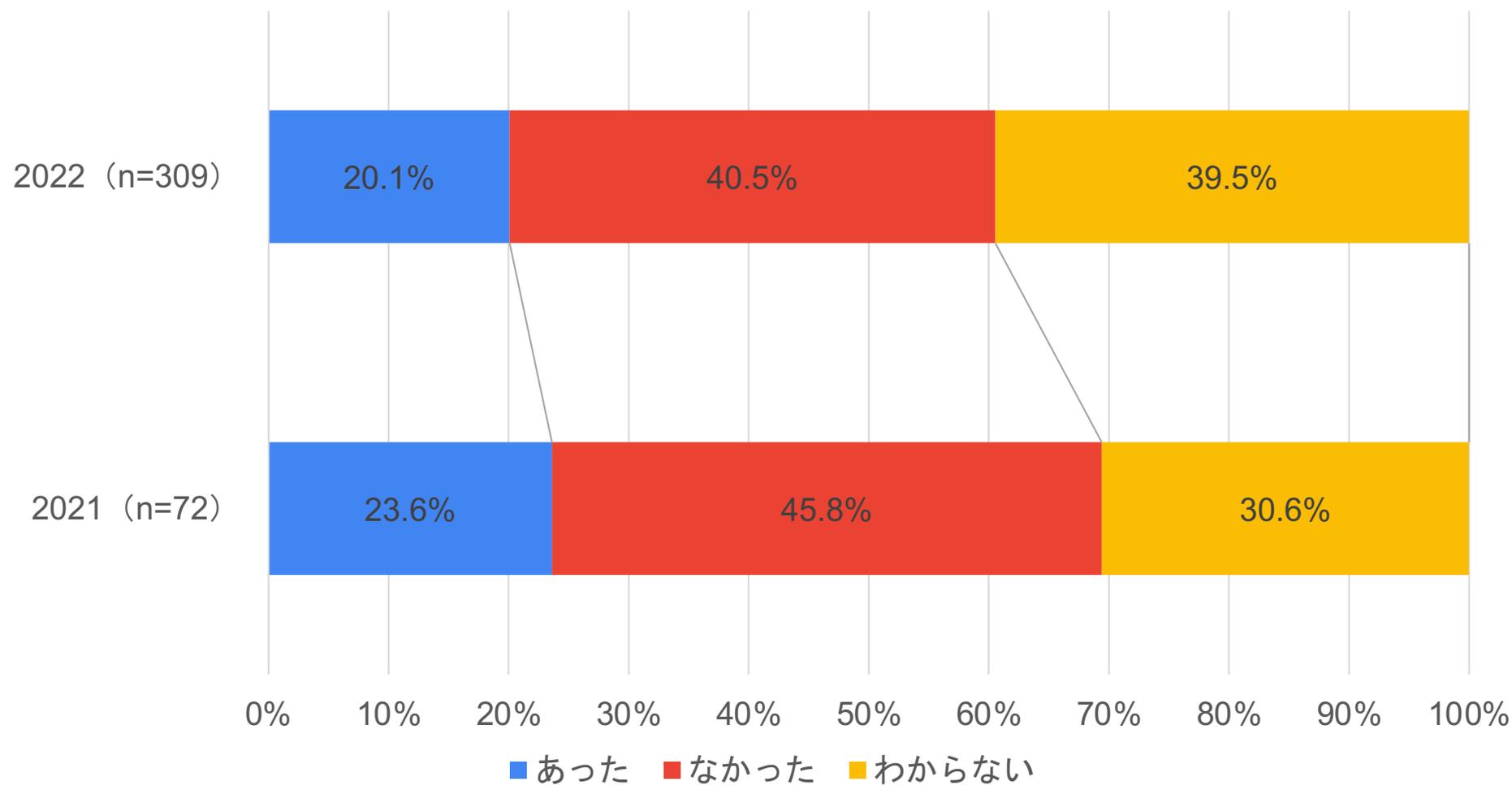


事前応援「あり」は極めて少数、「わからない」が増加

地元校下（地域）での大会前の事前応援の内容 （自由記述より抜粋）

- ・ワッペン（ステッカー）の配布と当日の応援の取り組みについての案内
- ・地域のキャラクターのシールを張って参加してほしい。お礼をするとのこと。
- ・会長から直接頑張るよう応援頂きました。励ましの声かけ。
- ・連合町会長・地元町会長より応援メッセージを貰った。
- ・かかし
- ・校区の情報冊子
- ・地域ランナー有志のSNSでの応援

地元校下（地域）での大会当日の応援の取組み



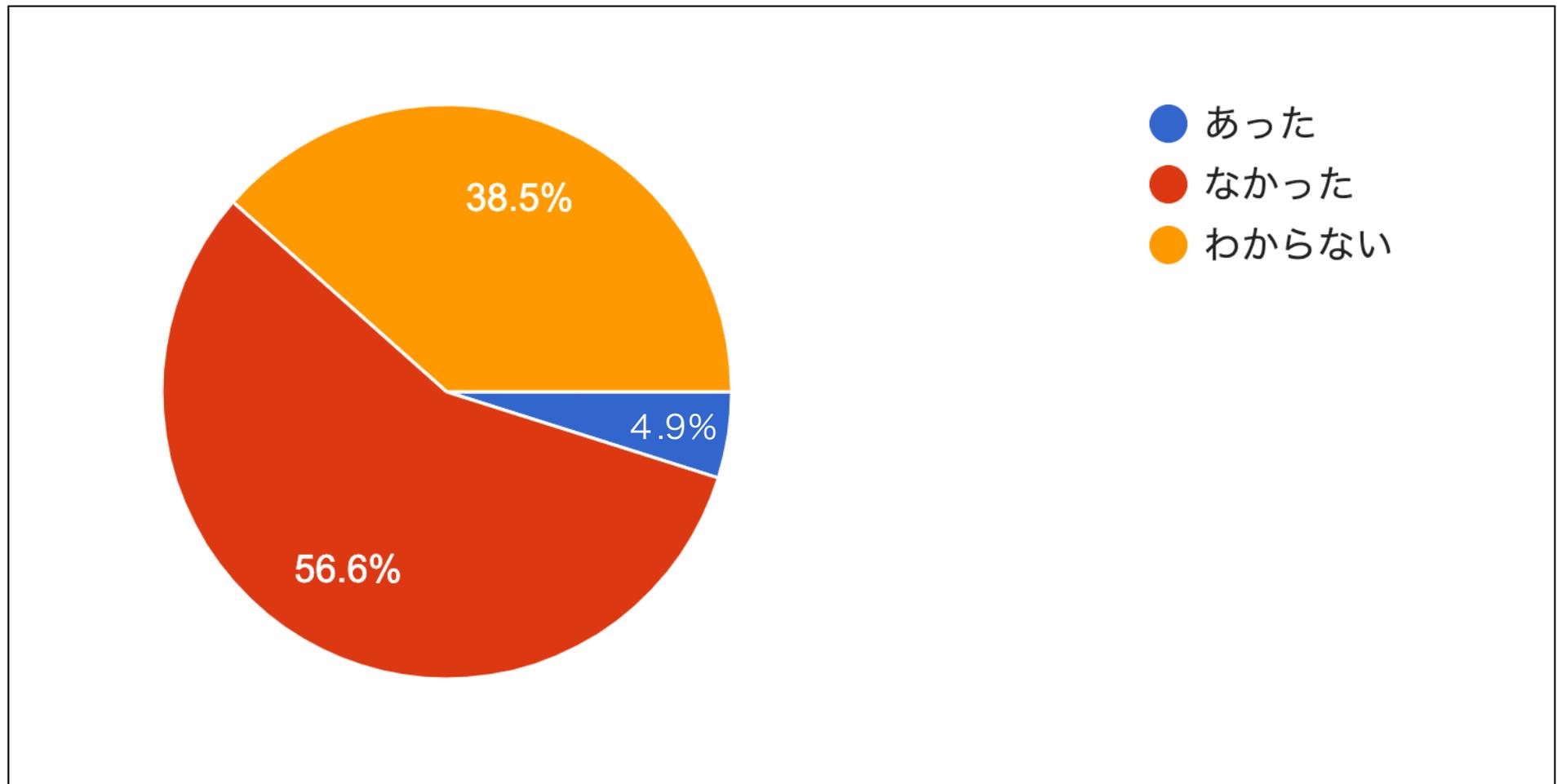
事前応援に比べると増加するものの全体で見ると「あり」は少数派

地元校下（地域）での大会当日の応援の内容 （自由記述より抜粋）

- ・ 沿道で校下住人まとまっての応援／毎年所定の場所で地域住人が集まって応援
- ・ 大勢地域の方が並んで待っていてくれた
- ・ 応援スポットでの地域有志らの声援、写真撮影等
- ・ ●●、●●、●●（地区名）の3校区合同の応援スポットがあった。
- ・ 子供たちの太鼓演奏、バトン演技、よさこい踊りと盛大な応援を頂きました。
- ・ ゼッケンに気づき知らない人でも地元と言うことで気持ちよく応援してくれた
- ・ 沿道での声掛け応援をしていただきました／校下名で応援された
- ・ ●●（地区名）頑張れ～と30回以上の応援を頂きました
- ・ プラカードでの応援／個人名入り応援ボードの掲示
- ・ 沿道で地域の方が十数人、応援プラカードを用いて応援してくれた
- ・ フラッグやメッセージカードでの応援があった。
- ・ 名前のパネルとスピーカーで応援・盛り上げてもらえた。
- ・ 名前の書かれたメッセージボードでの応援／名前入り応援幕の掲示



地元校下（地域）での大会後の応援の取組み （予定を含む）

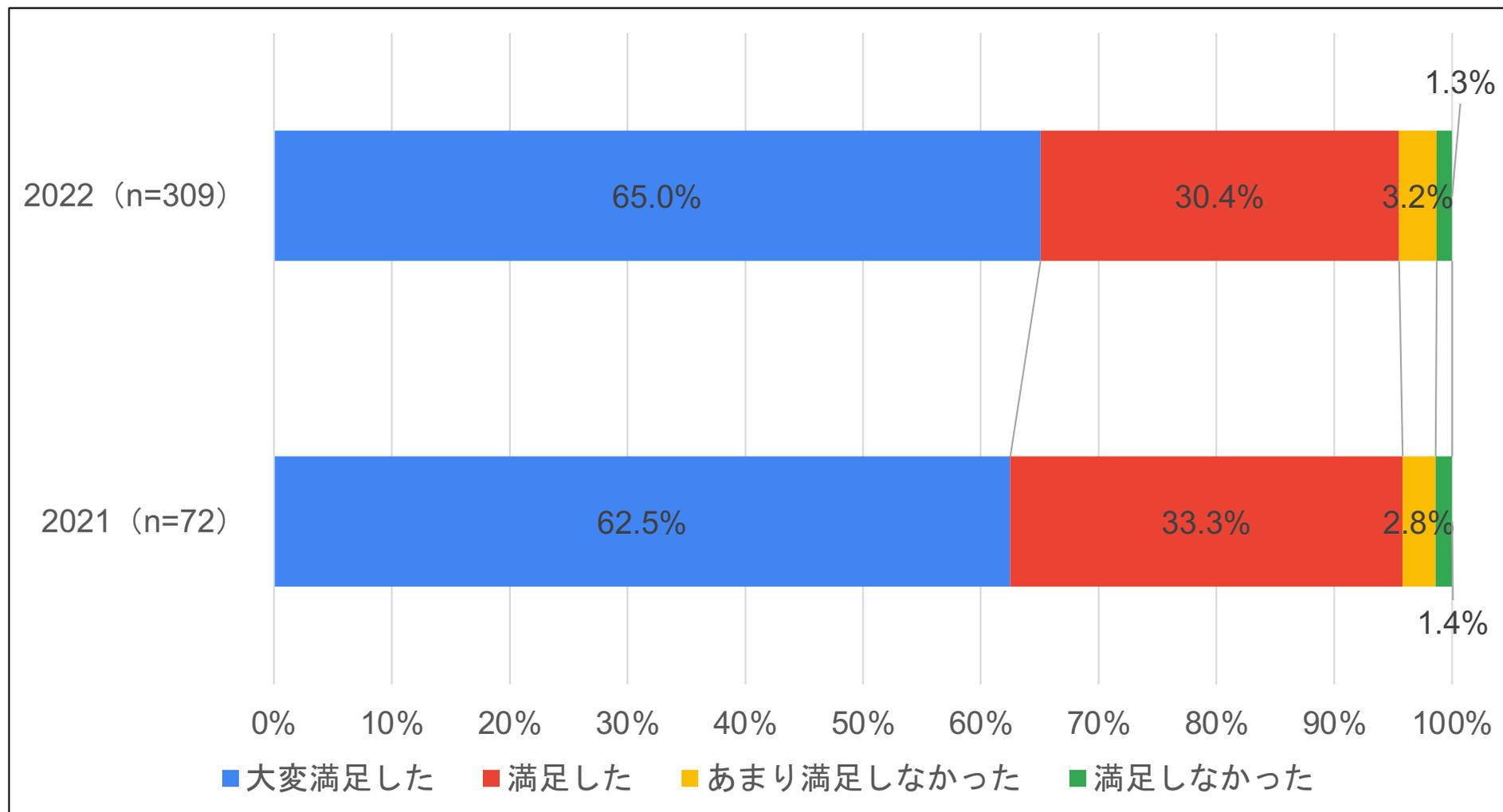


大会後応援も「あり」は少数

地元校下（地域）での大会後の応援の内容 （自由記述より抜粋）

- ・ 家庭訪問があり、来年も頑張ってもらいたいと声をかけられた。
- ・ お菓子を頂いた。
- ・ お礼の品、それも校下にまつわる物を後日 自宅に持ってきていただいた。
- ・ 謝意の手紙と食べ物
- ・ 贈答品をいただいた
- ・ 地域の特産物のプレゼントやがんばったことへのメッセージをもらった。
- ・ SNSでの画像アップと労い
- ・ 公民館発行の結ネットに地域枠出場選手、応援風景の写真を掲載

「地域ランナー枠」 出走ランナーの大会参加満足度

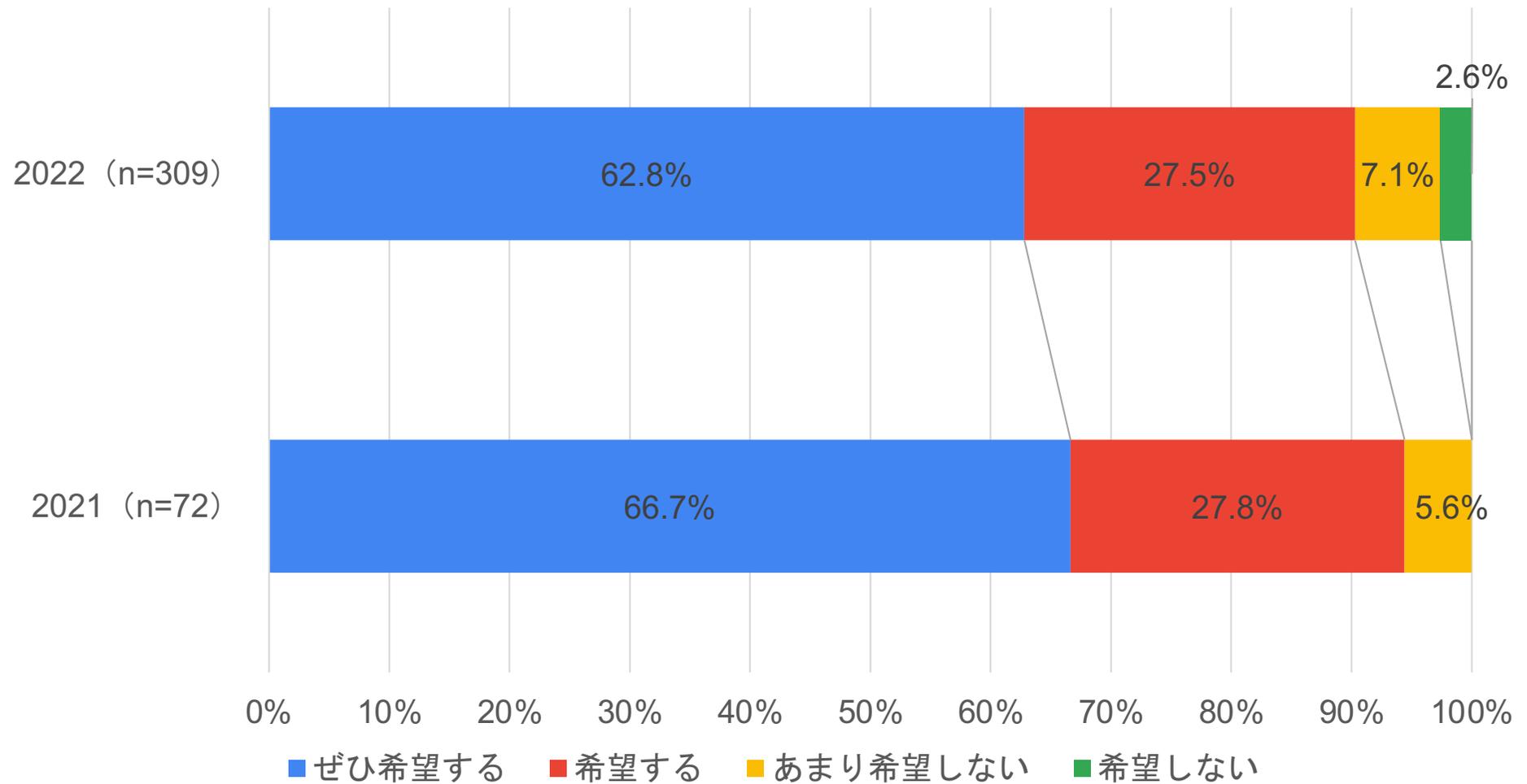


95%を超える高い参加満足度

「地域ランナー枠」出走ランナー大会満足度の理由 (自由記述より抜粋)

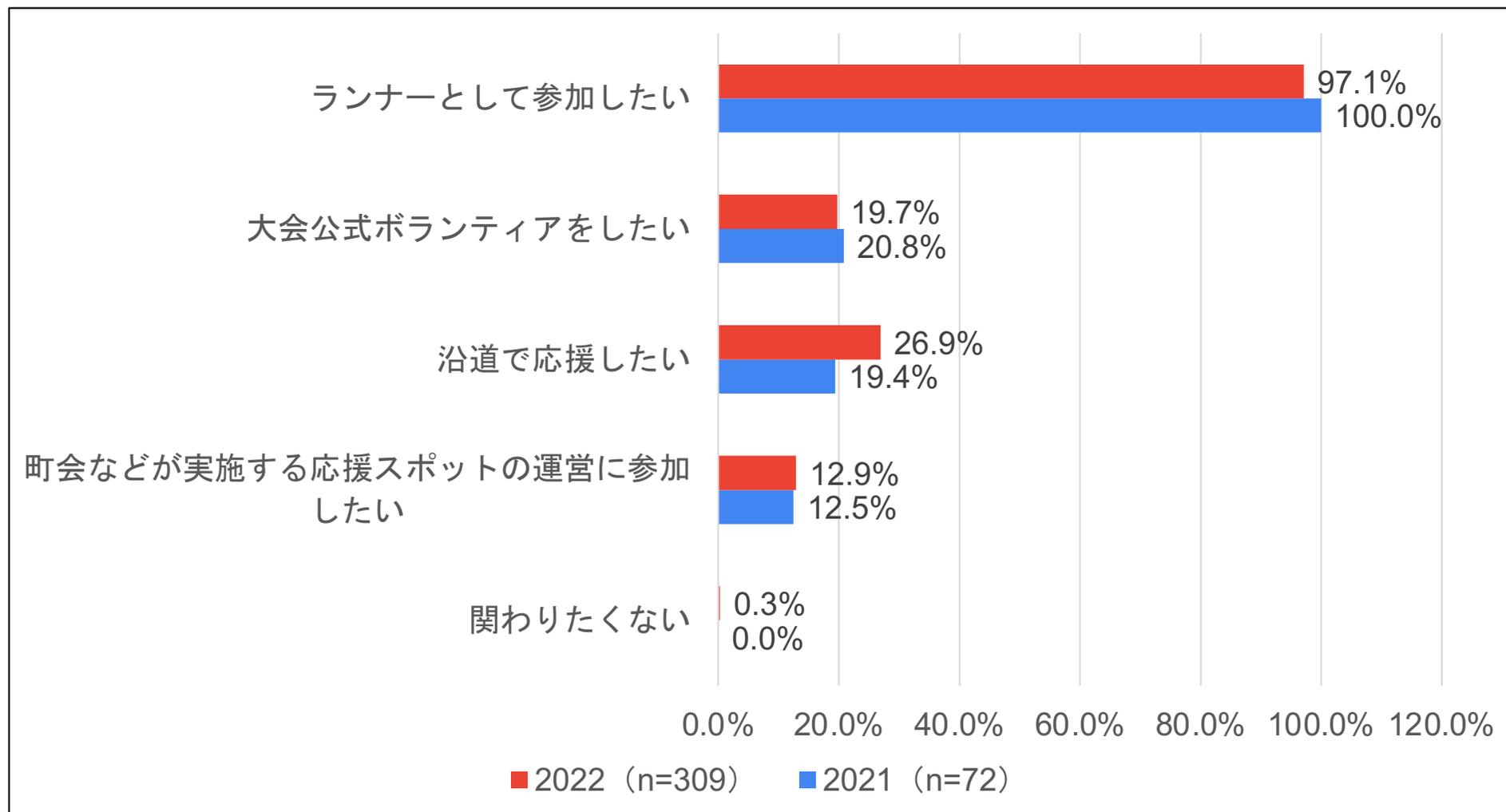
大変満足／満足	あまり満足しなかった／満足しなかった
<p>【大会全体に関する記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続く中、12000人規模の都市型マラソンを開催している。大会関係者の取り組みに感謝／2ウェーブスタートが良い／動線を上手く考えている／完走できたこと／コース的に初心者に走りやすいコース／エイドが充実／スムーズな大会運営とボランティアの活動で走らせていただいたことに感謝です／ゲストと応援が素晴らしい／ボランティアを3年経験し、やっと当選して完走できた／ <p>【地域ランナー枠に関する記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加優先と当日沿道からの地域ナンバー声かけ応援に嬉しくなりました／わが町を走るのはどのマラソンを走るよりもやっぱり格別／地元で走れる安心感／金沢マラソンは毎回ボランティアや応援の参加がすばらしく走っていてとても幸せな気持ちになれます。感謝でいっぱいです。しかし、地域ランナーとして参加しても個人で参加と何も変わらなかったのですが、どうしたかったのでしょうか？地元の地域が大好きですし、地元のために何か役に立つことがあればと思っておりますが／一般枠以外に当選枠があるのは大変ありがたいです／昨年は自分の希望で校下名の入ったビブスを付けて走りましたが至る所で校下名を呼んで応援いただき非常に励みになりました。今年は地域枠拡大との事で、昨年同様の応援をいただきたく思い地域枠で応募しました。又、走行中も周りの選手が着けている別の校下名ビブスを見ると自分も頑張る気力を貰え励みになります／地元ならではの知人が多く盛り上がった／地元の校下を家族やご近所の方々の声援を受けて走れたこと 	<p>【大会全体に関する記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会運営ボランティアは素晴らしかったが、自分のタイムに満足出来なかったから ・5時間30分ペースで走ってもエイドが既に無いものが多かった／後半にご当地グルメがなくなるのは仕方ないと思うが、それ以外の補給補食（バナナ等）はタイムに関係なく準備してほしい ・ウェブスタートで10分遅いうえに、スタートラインまでに数分かかるのに制限時間が考慮されていない。 ・コロナ陽性になりまして出れませんでした!!／コロナの陰性証明が提出できず参加できなかった <p>【地域ランナー枠に関する記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に地域ランナー応援スポットなど無かった ・地域に通っても何も応援もない。沿道から「地域名」で「地域名さ～ん」て声援があったけど、「地域名」が私の名前だと勘違いされているようでした。 ・町名標記が小さすぎるので応援側に気付かれにくい。標記に町が入ってないから、瓢箪さんと間違えられていた感じがした。自分の地区を通過したけど、連絡がいてないからなのか、全く応援がなかった。 ・他の地域(町会)からは多くの声援があり頑張る力を貰った点があるが、地元は全く関心が無い雰囲気であり「地元」で出た意味が無く残念でした。次の出場機会があった際には、地元枠なら辞退したいです。

「地域ランナー枠」出走ランナーの 「地域ランナー」としての再参加希望



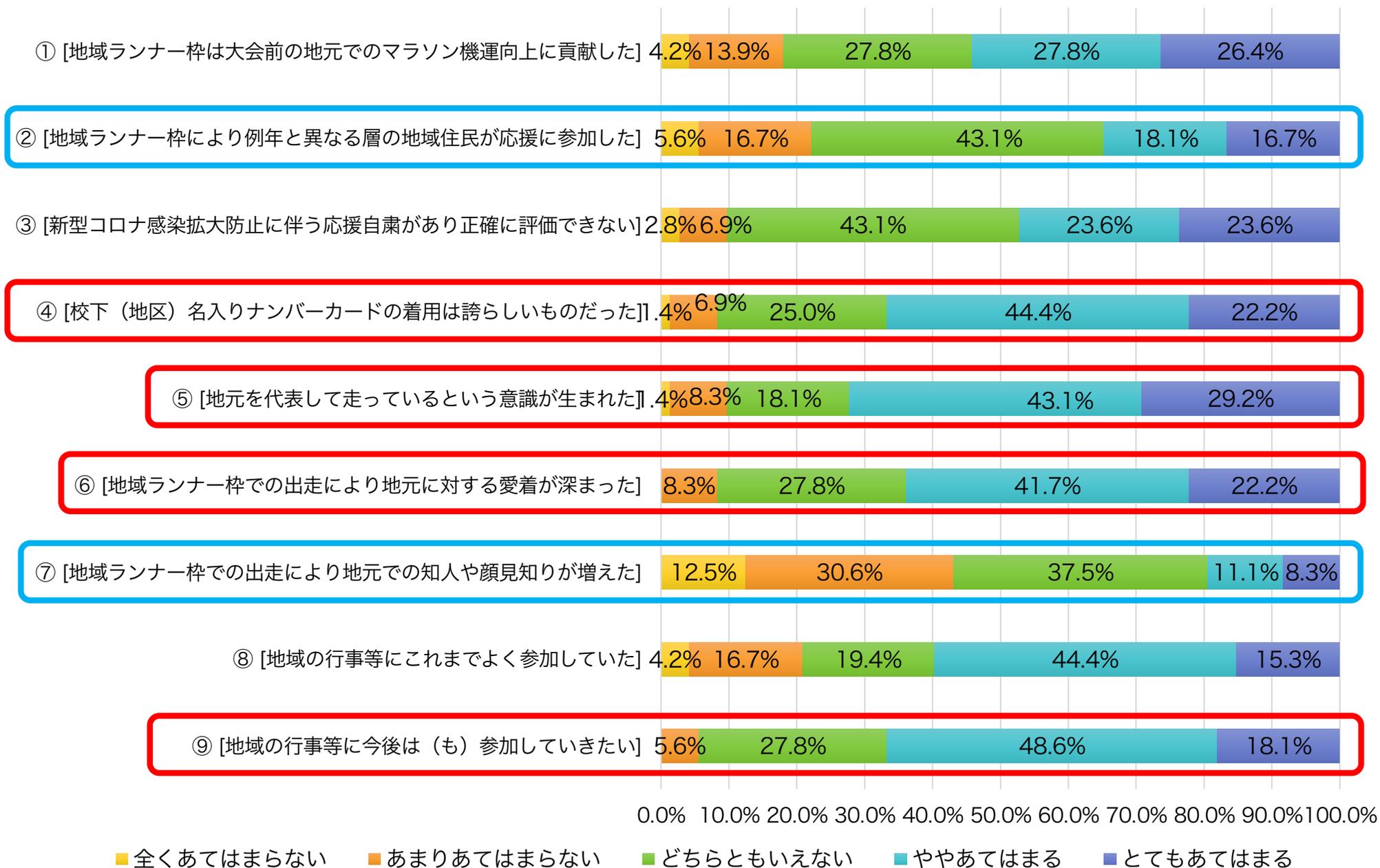
90.3%が「地域ランナー」としての再参加を希望

「地域ランナー枠」出走ランナーの今後のKMへの関わり

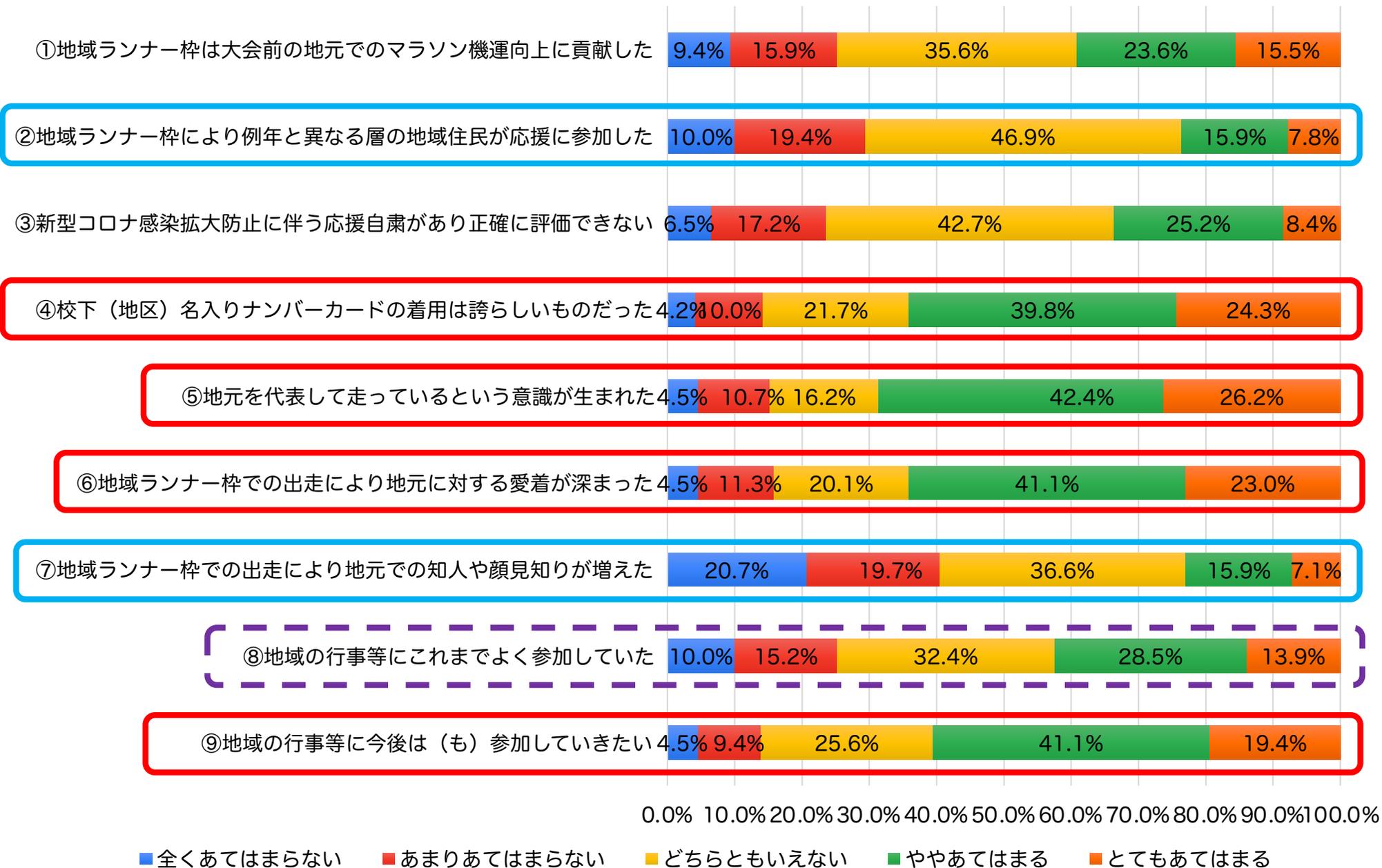


大多数はランナーとして参加したい。
大会公式ボランティア経験者（9.4%[2022],11.1%[2021]）より、
大会公式ボランティア希望者の方が2倍程度高い割合

地域ランナー枠の効果等 (2021大会,n=72)



地域ランナー枠の効果等 (2022大会,n=309)



2021年度と同様の傾向、「地域行事への過去参加実績」は減少

「地域ランナー枠」での大会参加全般を通じて気づいた点 (自由記述より抜粋)

- ・個人ではなく、地域の代表として参加しているということで、より頑張ることができた。
- ・マラソンは未経験だったので、こんなに大きな行事だということを知った。せっかく自分の地域でやっているのなら今後は協力しようと思った。
- ・大学一年生で今年金沢に来たが、金沢の地理を知れて良かったです。

- ・コースのどこかに自分の地域の応援ボードがあると嬉しいかも。

- ・ネームがもっと地域ランナー表示が大きい方が良い。校下名なのかニックネームなのか、わかりにくい。
- ・校下名が小さいのであまり目立ってないと思われた。ゼッケン全体を違う色にするとかの目立つ工夫が必要

- ・「力が入った応援(声援)をされている方々を多く拝見した事もあり、決して他の地域を批判する訳でもなく「人の温かさ」を感じました。但し、例外地域が存在した事は事実なので、個人的には次に希望する事は二度とないと思います。
- ・コース外の地域なのでほぼ特別な扱いは無かったです。
- ・沿道の声援自粛の影響もあって、地域名をつけて走っていても全く実感が湧かなかった。何のために地域ランナー枠で応募したのか、という思いになり寂しかった。また、地域内でこれに関する動きが全くなかったのも悲しかった。
- ・この大会の地域枠ランナーが各地域ごとに何人参加しているのかが見えていない、地域公民館単位に参加者名の情報は出されていたようですが、公表しての盛り上げがなかった・参加者の紹介等を各地域で行えればよいと思います。

- ・もっと声援あるのかと思っていた。今回は声かけ応援できないので仕方ないですね
- ・一般ランナーと地域ランナーの区別なく、町会に名簿が渡っていたのかわかりませんが、町会によって地域ランナー（地元からの一般ランナー含むかも）への熱がかなり違って、盛り上がっている町会が羨ましかったです。
- ・地域ランナーゼッケンを見て、沿道でもっと応援してくれるものと期待していたが、特に特別な応援を感じることは出来なかった。沿道の声援はランナーの力になるので少し期待外れでした。自分としては強く誇りに思って走ったが、コロナの影響などで地域行事が減少しているため事前にアピールできる場がなかったことも影響しているかも。
- ・地域ランナーの役割がはっきりしない
- ・地域ランナー枠を設けることを否定しませんが、多くの地元ランナーが参加していることから、校下名をつけたランナーを増やす努力はするべきですが、選ばれた人を特化するのはいかがでしょうかと思います。でも、校下名で頑張れ👍という応援が多かった。これはよかったです、周知すべきです。

「地域ランナー枠」や「地域ランナー経験者」を 今後の地域活動の活性化につなげるアイデア・意見 (自由記述より抜粋) ①

【地域ランナー枠を地域活動へのきっかけに】

- ・地域ランナー枠の意味、目的を浸透させるべき
- ・地域行事活動参加のきっかけに期待します
- ・地域ランナー枠参加者を活用したいなら、参加費を無料または割引する。そうすれば、沢山の申し込みもあり話題性も出るかと思います。その分、地域の行事には半ば強制的に参加もしくは協力が必須条件です。
- ・応募の際に、地域活動に貢献できる方・貢献しようと考えている方、などの注釈があると、その時点で何らか地域に貢献しようという前向きな気持ちが生まれる。後は個人の気持ちに委ねるしかないかと思う。ただし少しずつでも前向きな人は増え、地域活性化の底支えにはなっていくと思う。
- ・地域コミュニティ内でのボランティア活動も要請するなどさらに活性化に資する条件付加を検討してはいかがでしょうか。

【地域ランナー枠のPR】

- ・地域ランナーを、地域（公民館だよりなど）で事前にPRしたり、大会後の結果を紹介したりする。
- ・大会プログラムの中で地域ランナーを別枠で表示する。
- ・各公民館や町会などの広報誌やSNSなどと連携して事前に紹介やPRする。
- ・大会前に地域ランナーを集めた壮行会をすることで、地域意識の高いランナーが厳選されると思います。
- ・地域の社会体育大会などのイベントで紹介（壮行会）があれば金沢マラソンの大会告知にもなるし、地域ランナー枠で走る方のモチベーションが上がるかと思います。
- ・地域枠を希望する条件として、名前や顔が地域の広報物に掲載されることも承知してエントリーしてもらえばいい。地域枠当選者に限り名前を新聞に載せてもいいんじゃないか。地域の知り合いが出場するとわかれば応援する側も大会を身近に感じてくれるのではないか。

【地域の応援合戦】

- ・テレビを駆使して、地域毎に応援合戦を中継してdボタンで評価して視聴者参加型にしては？
- ・応援合戦等で最優秀応援地域を選出するランナーアンケート等は面白いと思います。

「地域ランナー枠」や「地域ランナー経験者」を 今後の地域活動の活性化につなげるアイデア・意見 (自由記述より抜粋) ②

【市民の健康増進】

- ・ マラソン愛好者を増やすことは、市民の健康増進につながる。この観点で考えてみたら良いのでは。

【地域ランナー間での交流】

- ・ レース前に地域ランナーとの交流会もしくは練習会が開催できればいいと思います。
- ・ 地域で、マラソン練習会や年間を通して走ることにに関するイベントなど開催できたら、今以上に地域とのかわりが沢山の人の中でできていいのではないかと考える。
- ・ 事前の練習を地域の防犯ランニングなどに繋げると良いかと思います。

【地域での事後交流】

- ・ 地域枠で走った経験を校下の皆様にお伝え出来る場があったら良いなど。興味持っている方にもマラソン参加を促せられるのではと思います。
- ・ 地域の集まりなどで走った感想などをいう機会を設けたりして、地域として応援出来る様になるとより盛り上がるのかなと思いました。
- ・ 地域枠で走った事で、地域の皆さんと話がしやすくなったと感じ、それだけで活性化となるのではないか。

【地域ごとの結果の公表（競争）】

- ・ 過度の競争心を煽る事は避けてもらいたいが、地域枠ごとの成績を公表しても良いのではと思います。市民マラソンと銘打って金沢市全体が盛り上がって行けたら楽しいのではないのでしょうか
- ・ 『地域ランナー』毎の順位表を作成公表して競わせることで士気高揚できるのではないか？
- ・ 地域ランナーの地域毎の合計タイムと順位など発表されると楽しそうですね。「今年はウチの校下は隣の校下より速かった！」みたいな
- ・ 従来の地域ランナー枠のほかに、地域でのリレー枠があると地域の結束が生まれるし、参加する人のハードルも下がるので良いのではないか

金沢マラソンの沿道応援

◆大会創設時から意図して設計された沿道応援の仕組み

- ・ 「応援ステージ」
城北市民運動公園、フィニッシュ地点の**2か所**で演目実施

- ・ 「応援スポット」

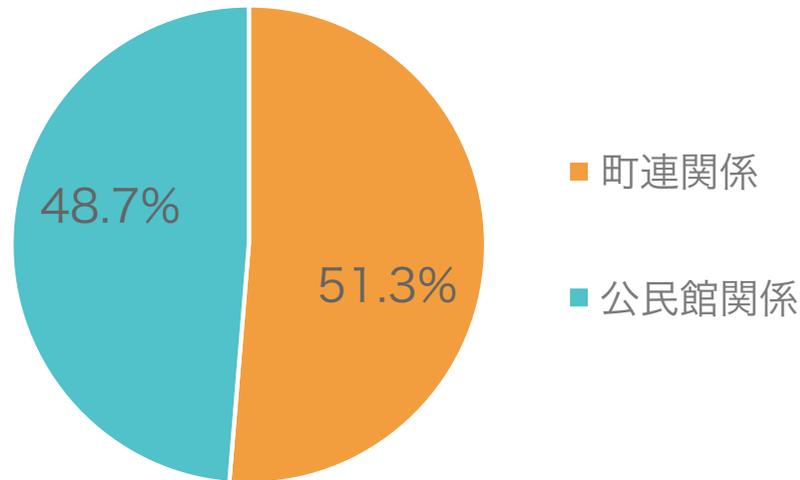
・ 町会連合会、公民館、婦人会からなる「金沢マラソン応援スポット実行委員会」が運営を担っている。
・ 市内の62町会連合会を15の応援スポットに割当てられる。実行委員会の統括町会連合会は輪番制が原則。

コース内**19カ所**、地域の特色を生かした演目で応援

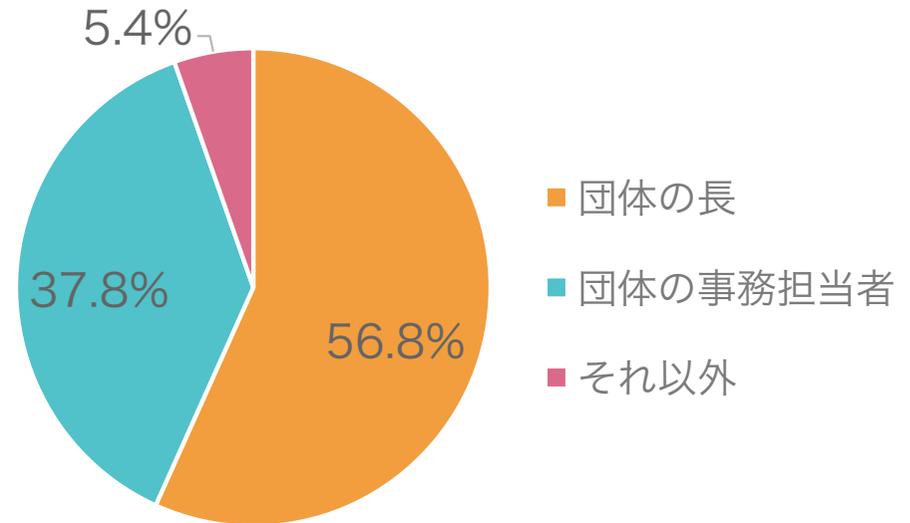


調査結果 (各校下 (地域) 関係者)

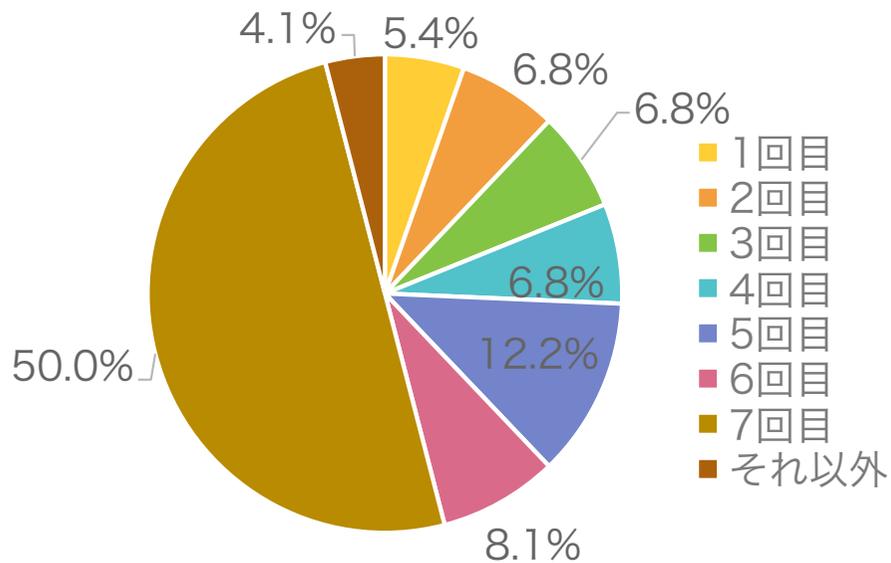
回答者の区分



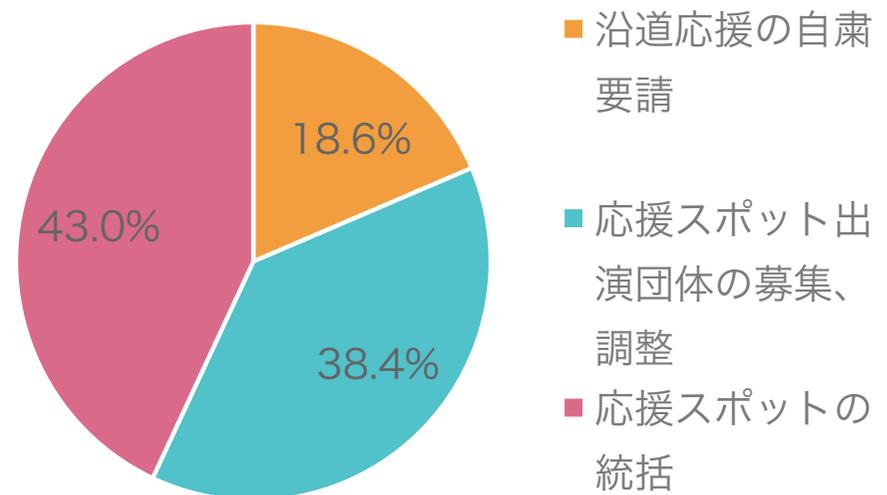
回答者の立場



金沢マラソンに関わった回数

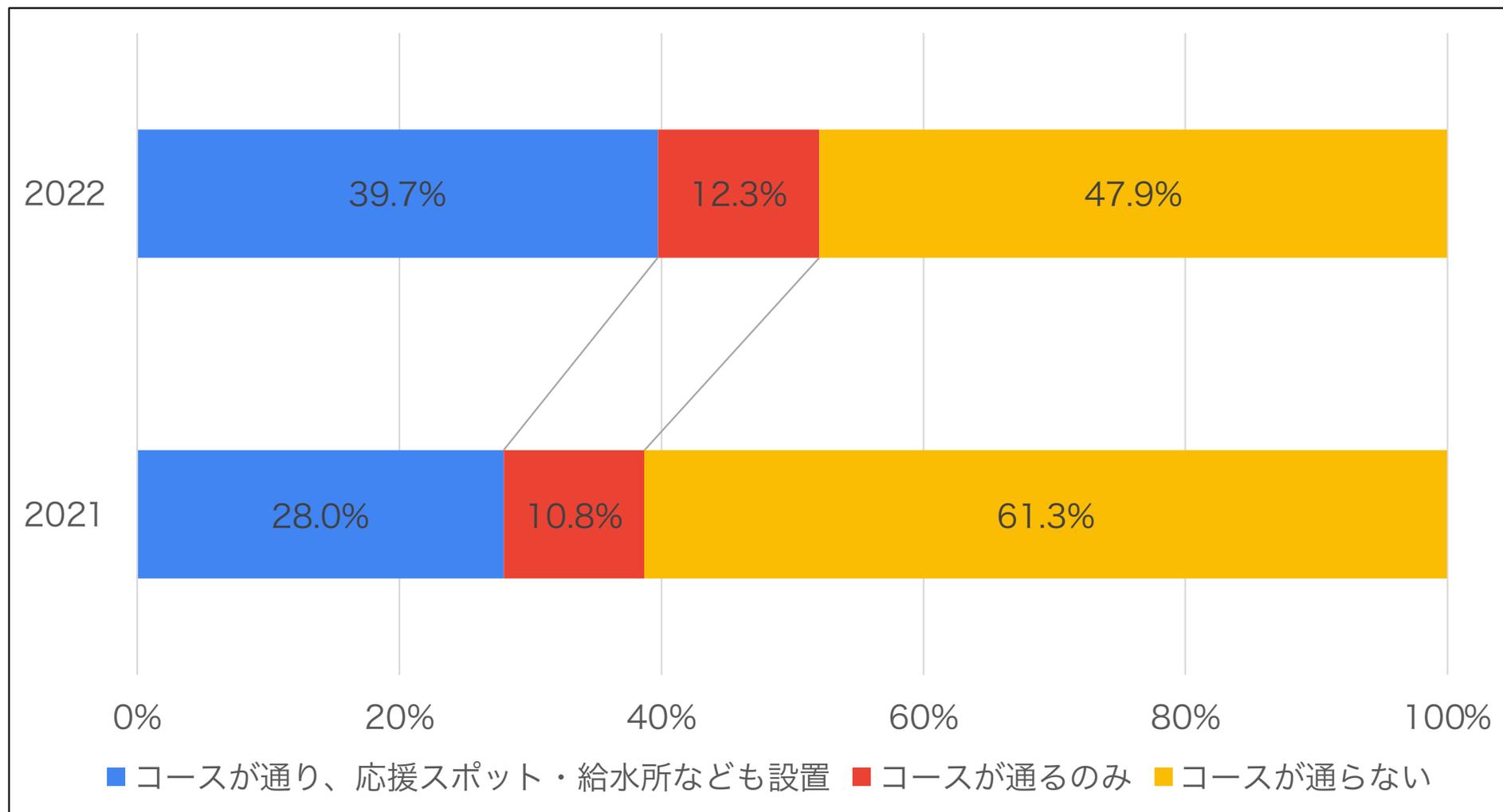


実施した取組み (複数回答)



(各校下(地域)関係者)

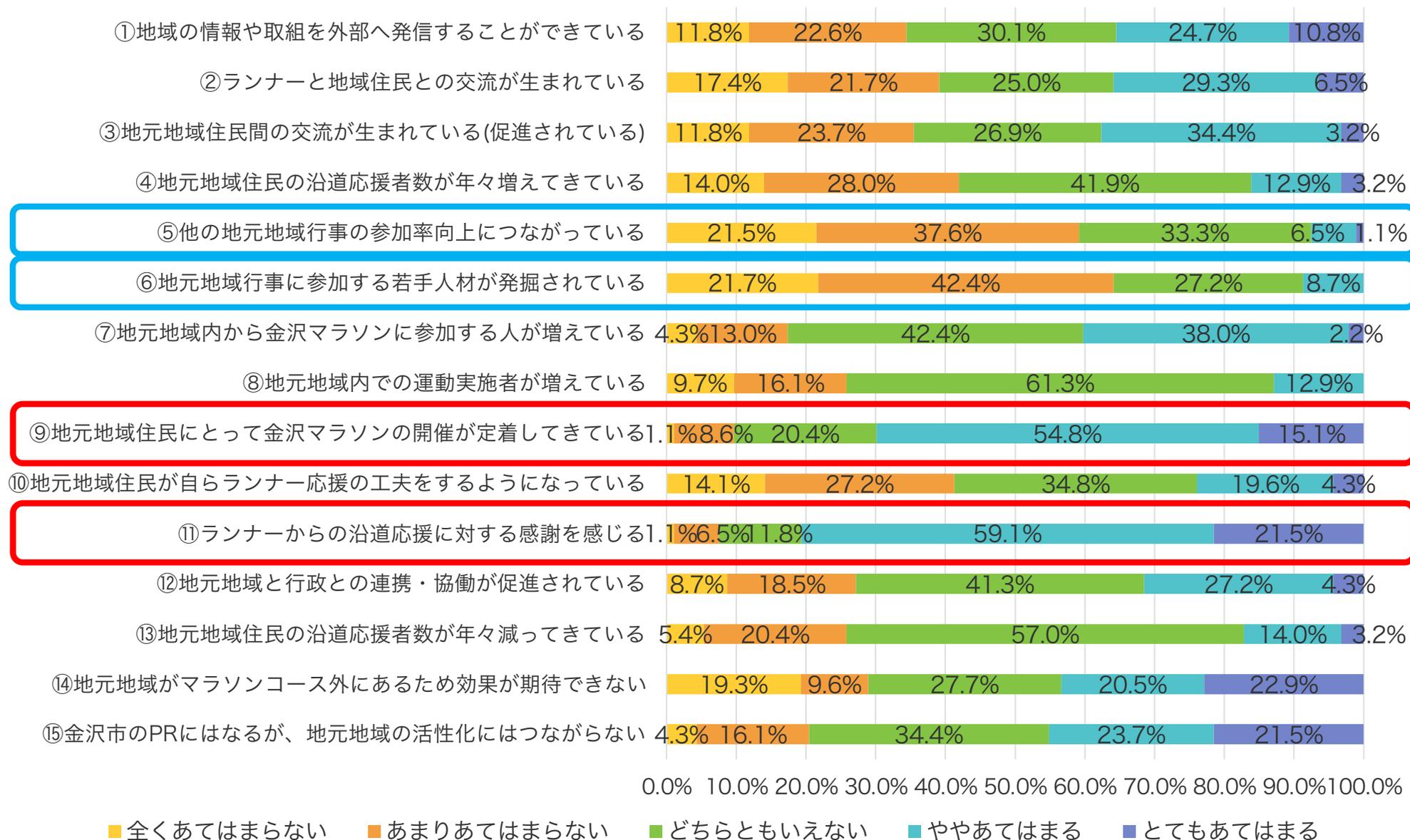
地元地域内を金沢マラソンのコースが通るか



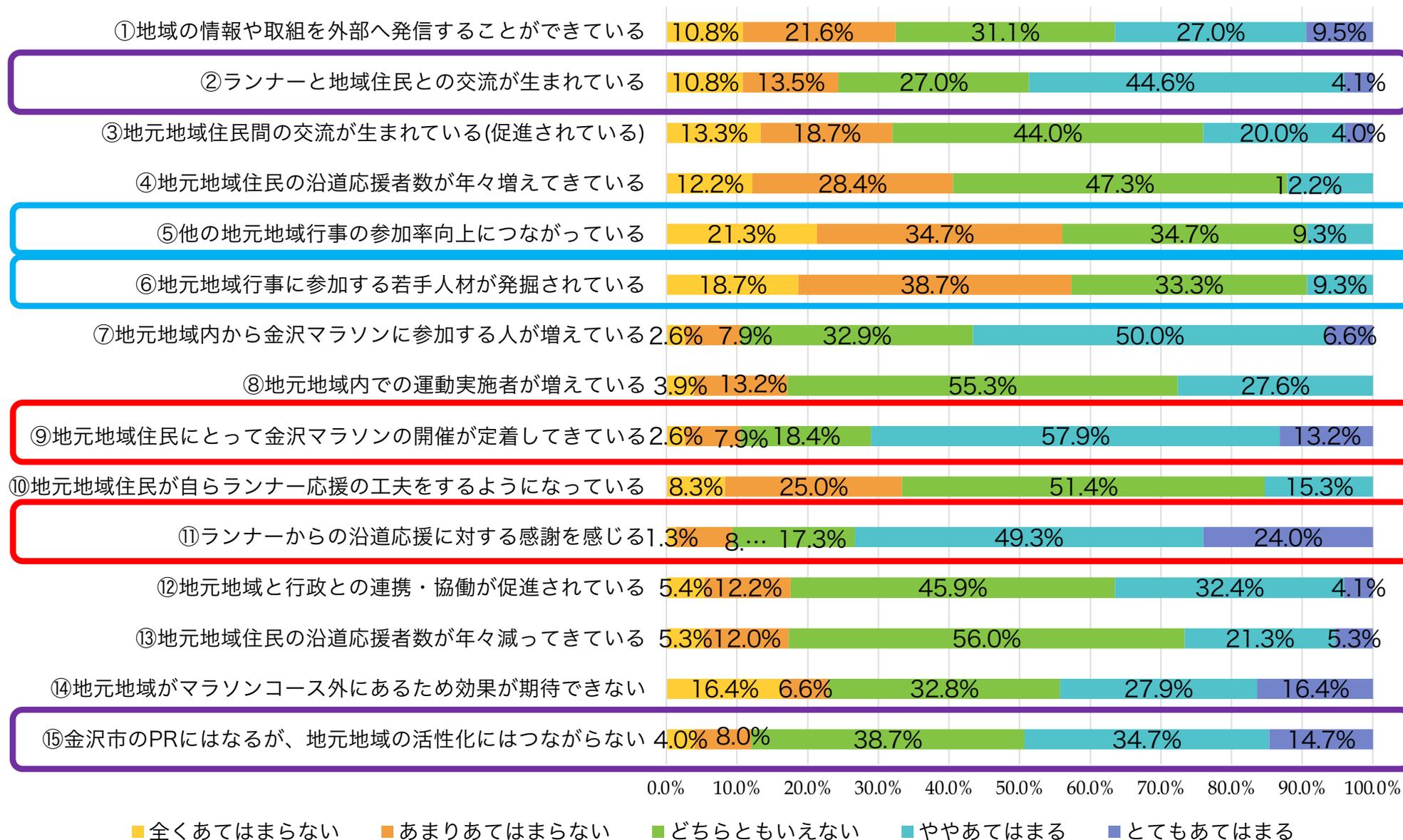
5割近くは「コースが通らない」

2021年度は6割以上 コースが通らない校下からの回答率の低下! ?

金沢マラソンによる効果や影響（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）



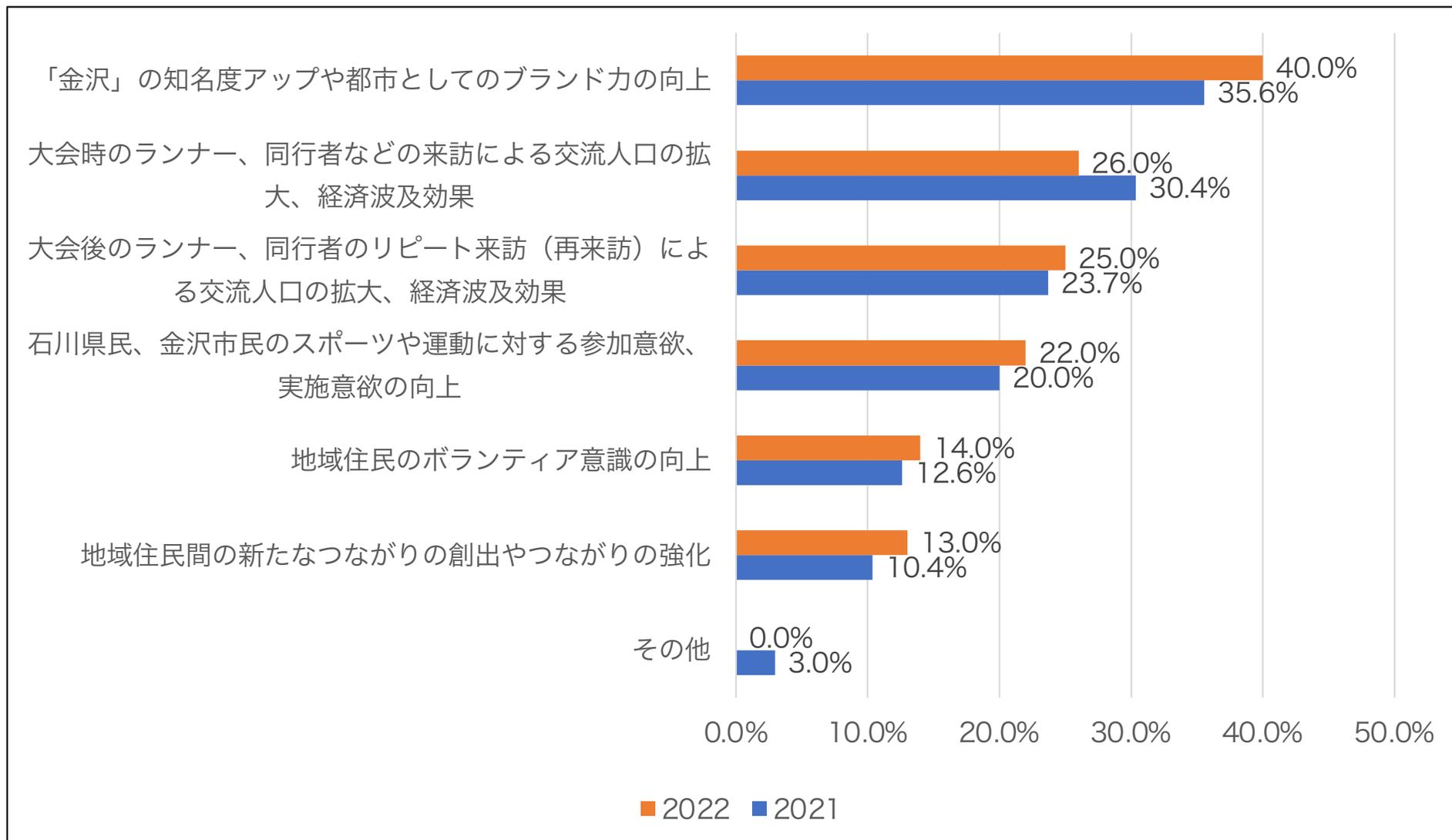
金沢マラソンによる効果や影響（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



ランナーと地域住民との交流は促進傾向、地元活性化への実感は薄い

(各校下(地域)関係者)

今後の金沢マラソンに期待する効果



地元地域での波及効果への期待が微増！？

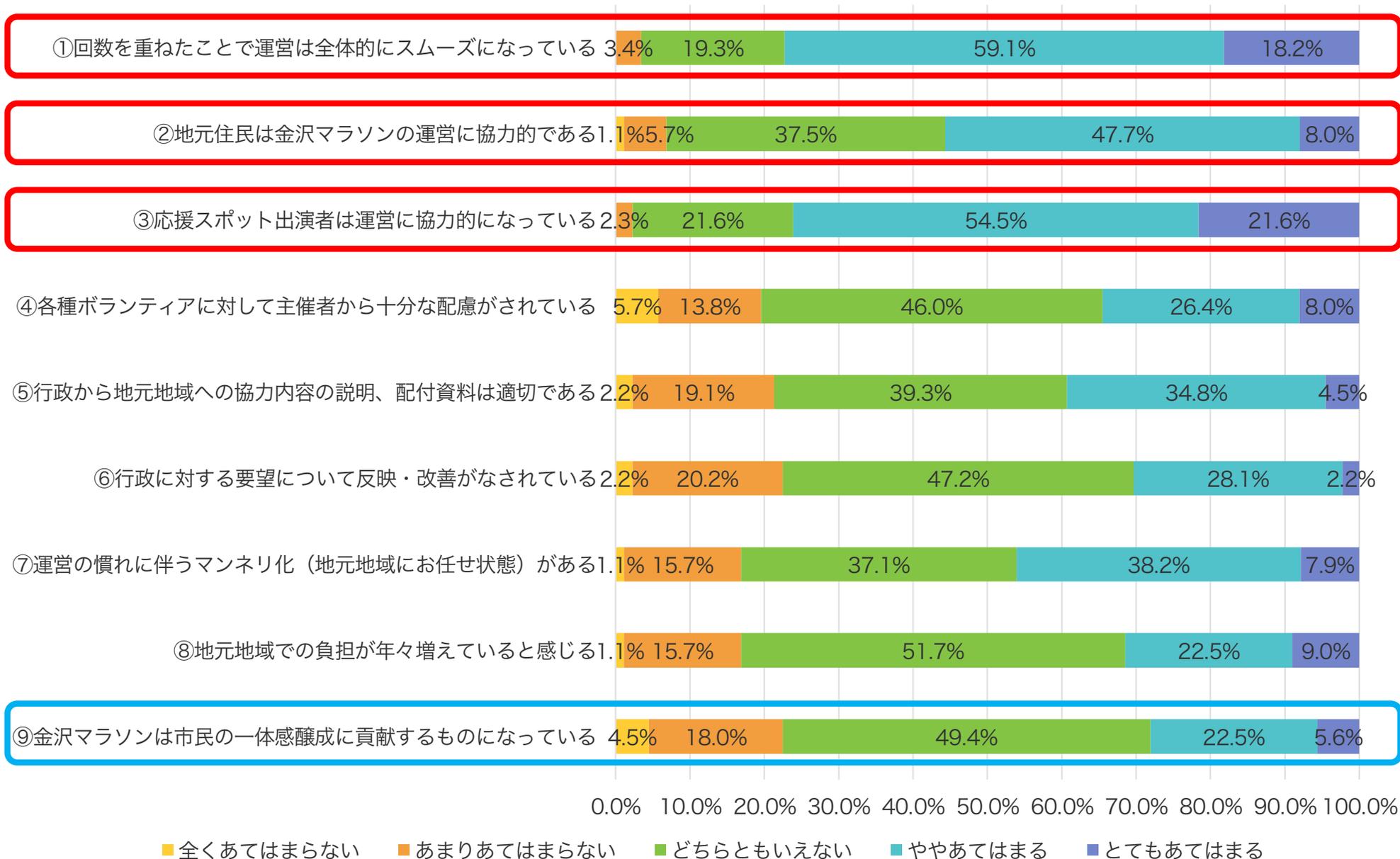
(各校下 (地域) 関係者)

金沢マラソンによる地元地域に対する効果や影響

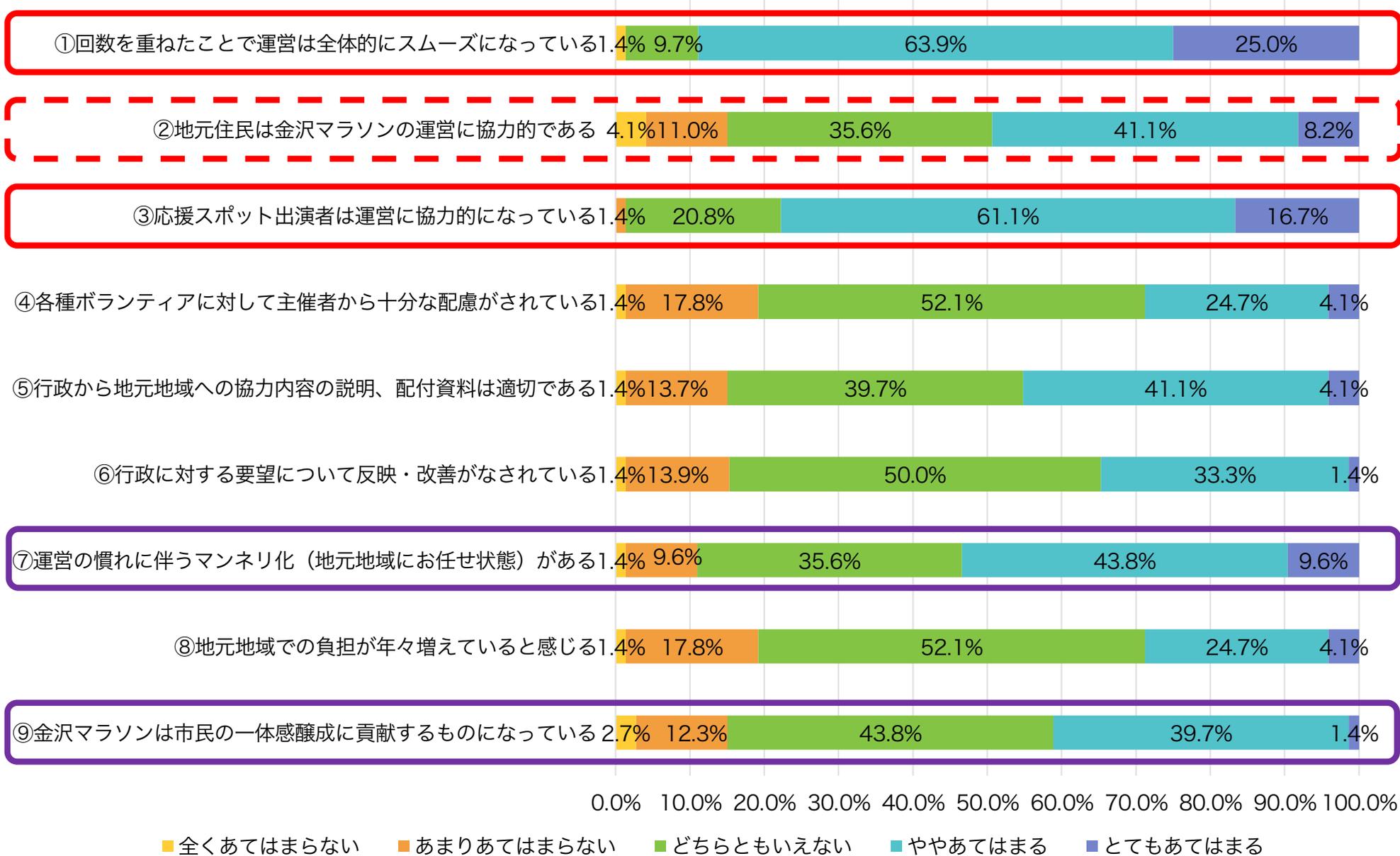
(自由記述より抜粋)

- ・地元地域に対する効果や影響は特別感じられない。
 - ・長時間にわたる交通規制は周辺住民に大きな影響を及ぼし不満もかなり聞かれます。
 - ・沿道応援は大変にぎやかで楽しいのですが、地元中小商店が営業中止になるのは辛い。
 - ・地域のほとんど全域がコースになっているので通行止めなど不自由な点が多い。地域住民に緊急搬送等の事案が出た時不安である。
 - ・コース外のため地元としては参加意識がうすい。
 - ・マラソン経路から外れた地域では効果、影響、また関心も薄い。準備や当日応援についてもやらされている感が強い。
 - ・一般の方へのPRが足りない。応援スポットへの参加がもうひと押しです。係員だけがわいわい言っているように思えます。
 - ・金沢マラソンは参加者の満足度は高いと思われる。一方地域については新鮮味がなくなりマンネリ化しつつあると思われる。
 - ・コロナ禍では仕方ないが通常であれば自発的にボランティアに参加する人材の発掘が期待できる。
 - ・コロナ禍でなければ「応援スポットや地域のスポットでの応援をお願いします！」と声を大にして呼びかけたい⇒活性化のきっかけになると思う。
 - ・活動のPRになる。定着してきている事業となっている。(交通規制などへの理解)
-
- ・家族や知人が出走していると応援にも力が入ります。
 - ・地域ランナー枠が確保され選手が出走することは楽しみだ。外国人選手の参加が待ち遠しい。
 - ・地元から誰が出場するのか一定期間地域の共通話題となる
 - ・当校下にもマラソンランナー5名程度参加しており、これからも少しずつランナーが増えると期待している(分かる範囲です)
-
- ・県外ランナー及び大会参加関係者の宿泊などで地域経済の効果有。
 - ・他県から人々にすばらしい金沢の良さを見てもらういい機会。

金沢マラソンの運営について（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）



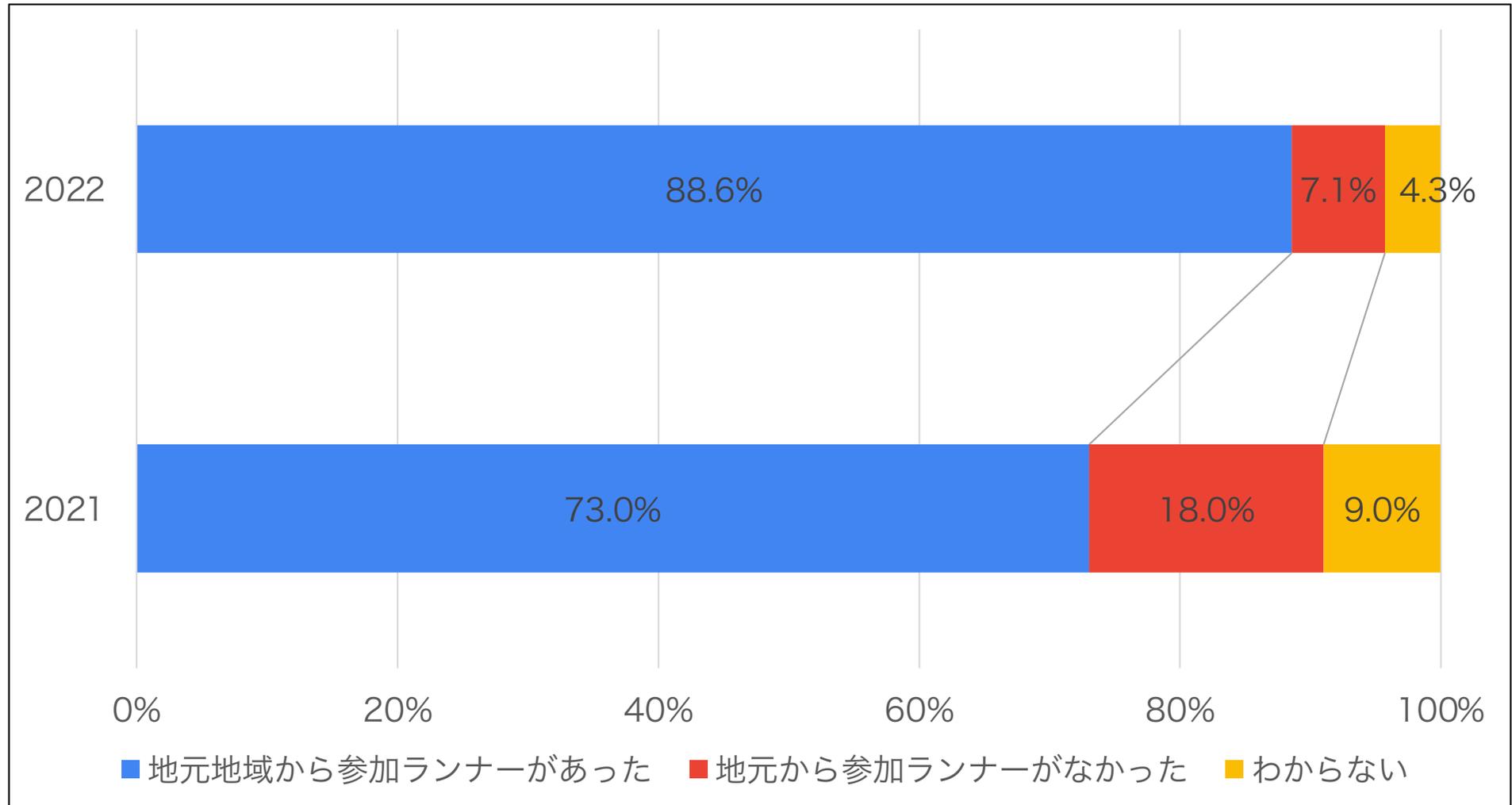
金沢マラソンの運営について（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



地元住民の運営協力 ↘、お任せ感 ↗、一体感醸成 ↗ の傾向！？

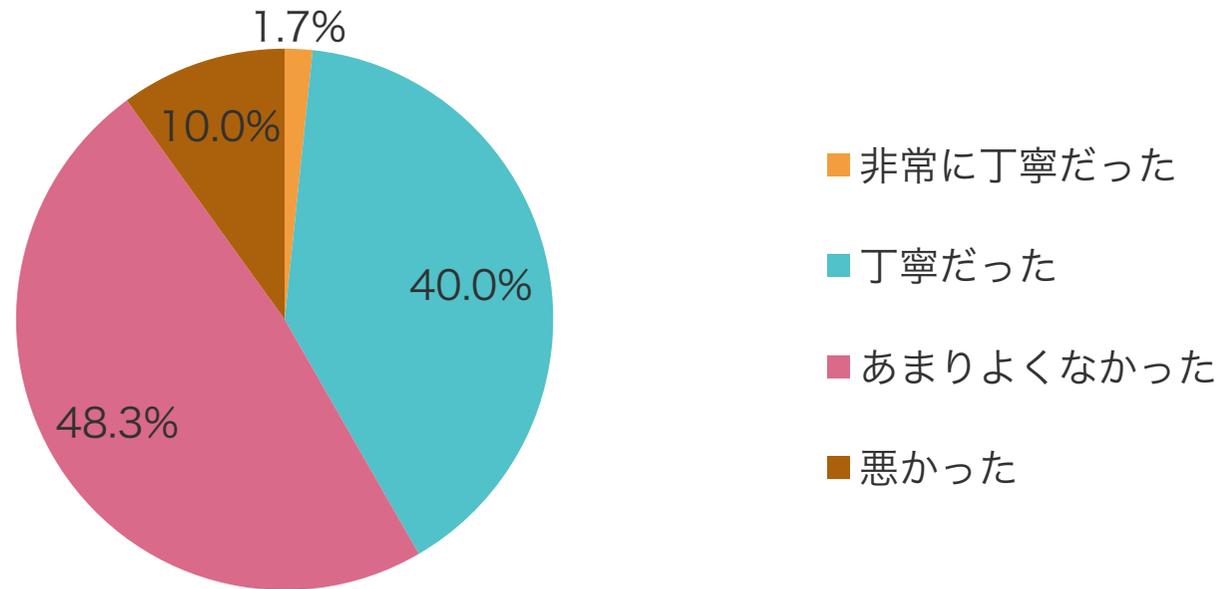
(各校下 (地域) 関係者)

地元地域からの「地域ランナー枠」の有無についての認識



地元地域での「地域ランナー枠」への認識は高まっている

(各校下 (地域) 関係者)
 大会事務局からの「地域ランナー枠」での出走ランナーに
 ついての事前情報提供

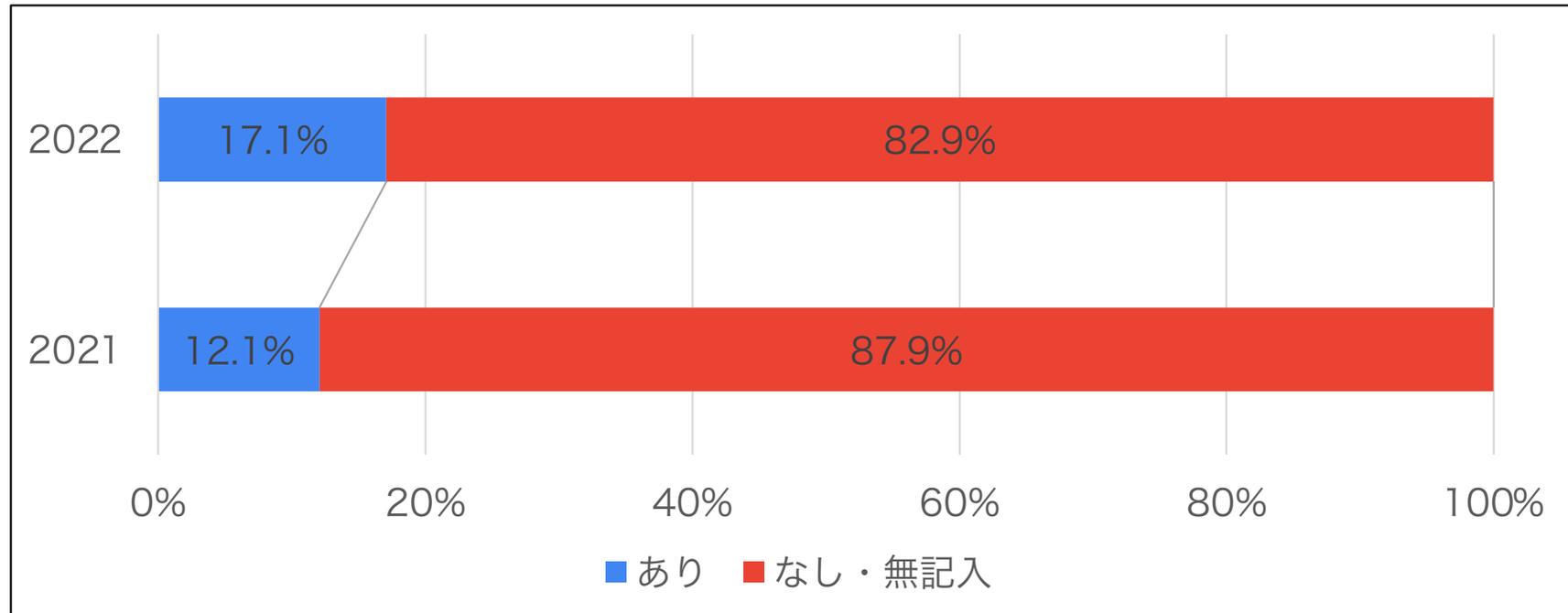


理由についての自由記述 (抜粋)

非常に丁寧／丁寧	あまりよくなかった／悪かった
<ul style="list-style-type: none"> ・名簿が送られてきて分かりやすかった。 ・町会連合会から詳しく説明を受けた。 ・一部に錯誤があった。 ・地域ランナーが報告された後追加があった。 ・町民への報告は大変です。 	<p>メールでの連絡のみ／追加分の連絡が遅かった／開催日直前に追加分がメールされてきた／事務局には事前はあったが町会への周知が徹底されていなかった／詳細な説明なし／地域ランナー枠の扱いが十分に理解されていない／参加者がだれか知らなかった。町会の加入等確認はどのようになされたのか？地域として把握出来ていなかった／事前に情報は全くなかった。</p>

(各校下(地域)関係者)

大会前の「地域ランナー」への応援取組

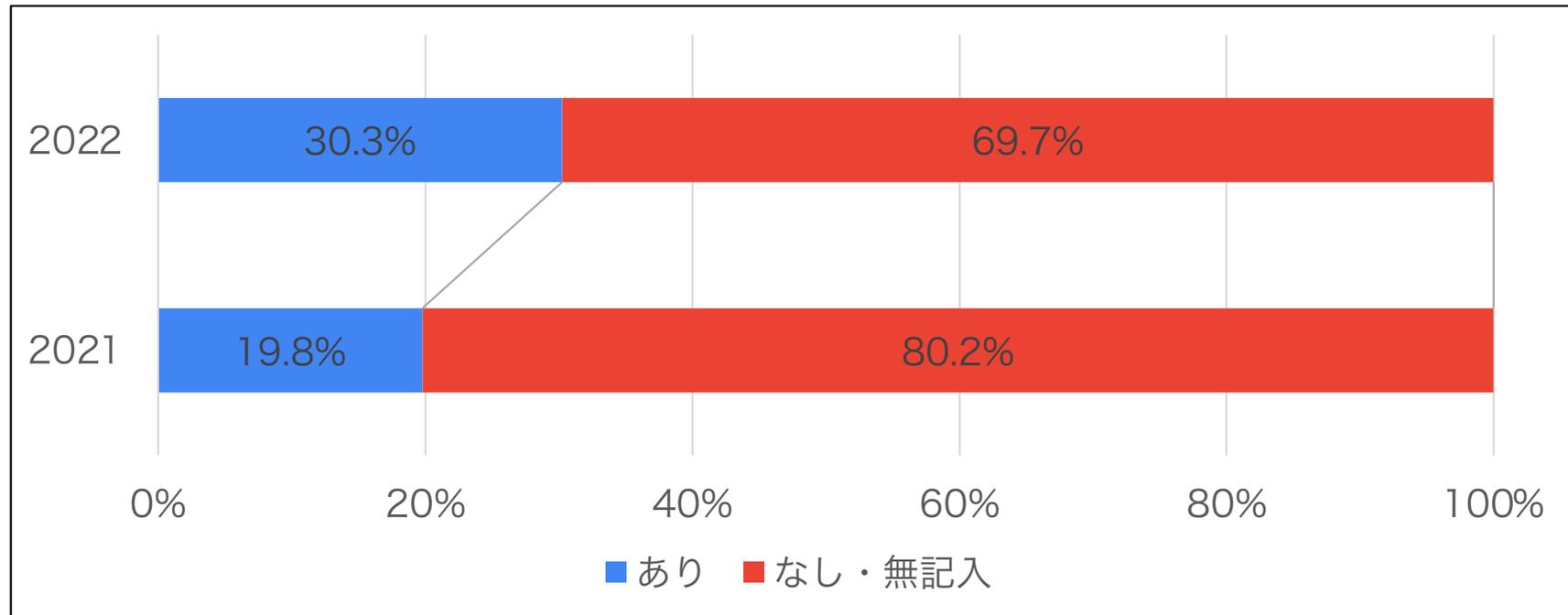


応援内容についての自由記述 (抜粋)

大会前の応援「あり」が増加

応援ボード・掲示物の作成／公民館で応援旗を作成し備えた／校下応援スポット箇所のお知らせをした／参加及び家族に応援場所を連絡した／知人の場合は応援している旨話をした／地域ランナー枠での参加はなかったが小さい校下なので地元の人を探し(多分)全員分のプラカードを作成／地元のマスコットのシールと当日応援スポットにて応援している旨の文書送付／地元地域のランナーとわかるように公民館のキャラクターマークを貼ってもらえるようシールを送った／メール・声掛け／町会加入の確認

(各校下 (地域) 関係者)
大会当日の「地域ランナー」への応援取組

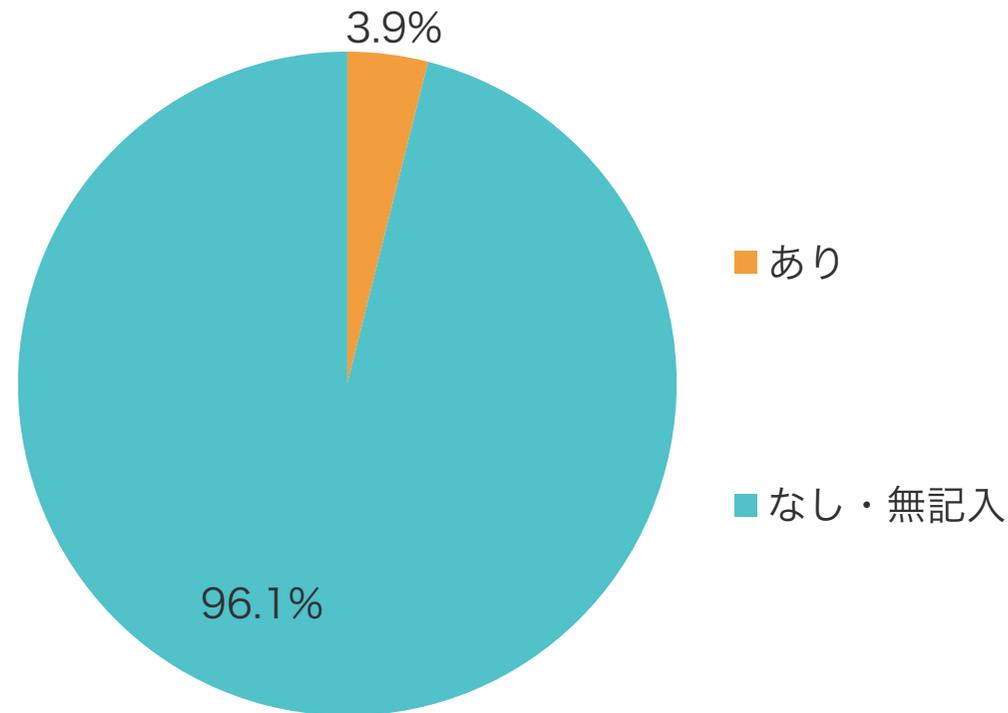


応援内容についての自由記述 (抜粋)

大会当日の応援「あり」が増加

名前をテントにはりつけて応援／参加ランナー名簿の掲示／メッセージボード・応援旗を作り地域 (校下) ランナーを応援／携帯で位置情報を確認しながら声かけ／地域名を示してプラカードで応援した／参加者の家族と地区の方々と一緒に応援した／スポットで地域ランナーが来るのを探していた／メッセージボードにランナーの名前を記入し近くまで来たらメッセージボードを持って応援した／校下名が入ったランナーに注視

(各校下(地域)関係者)
大会後の「地域ランナー」への応援取組



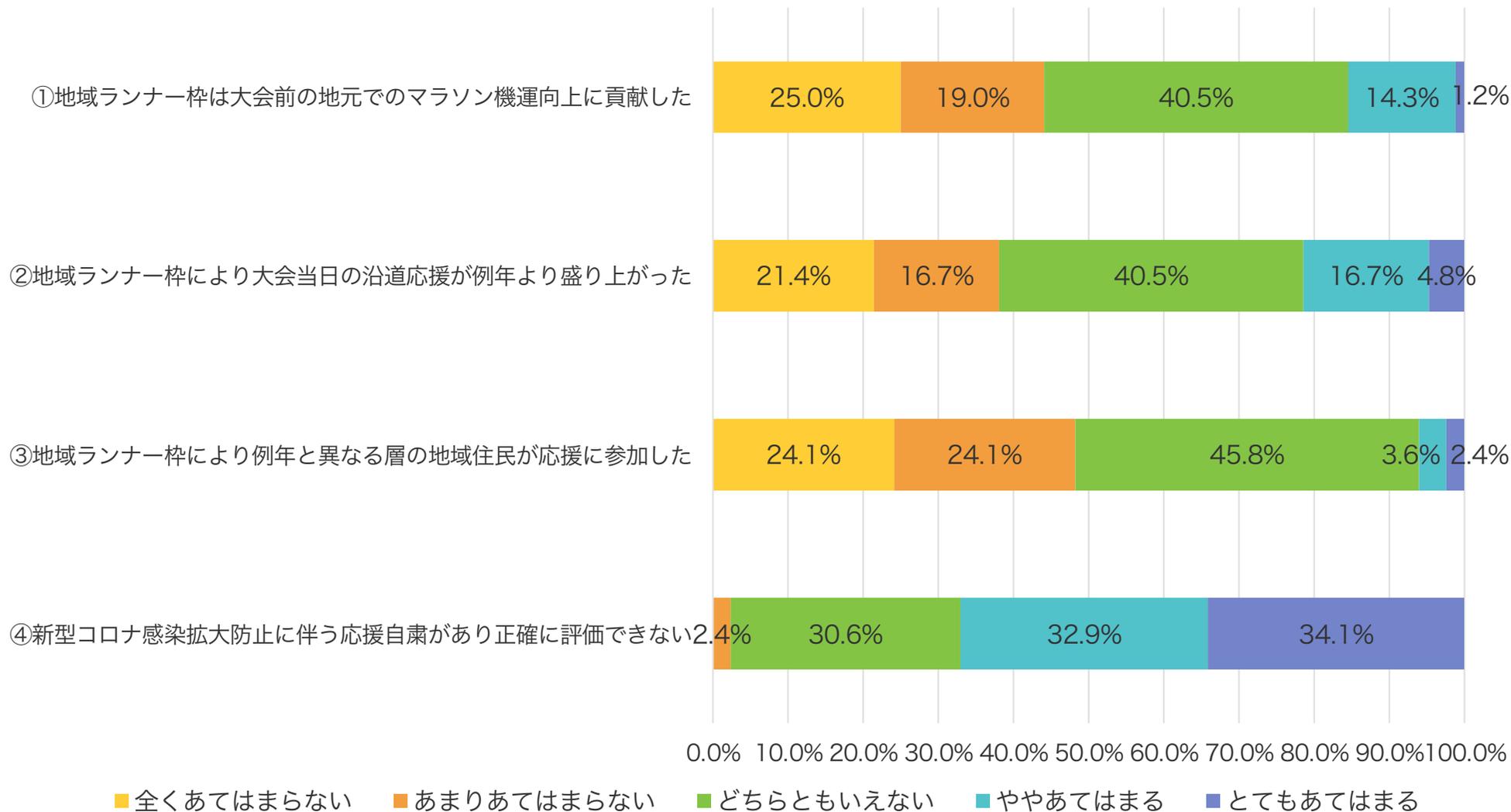
応援内容についての自由記述 (抜粋)

翌日に地域ランナーの皆さんに粗品配布。

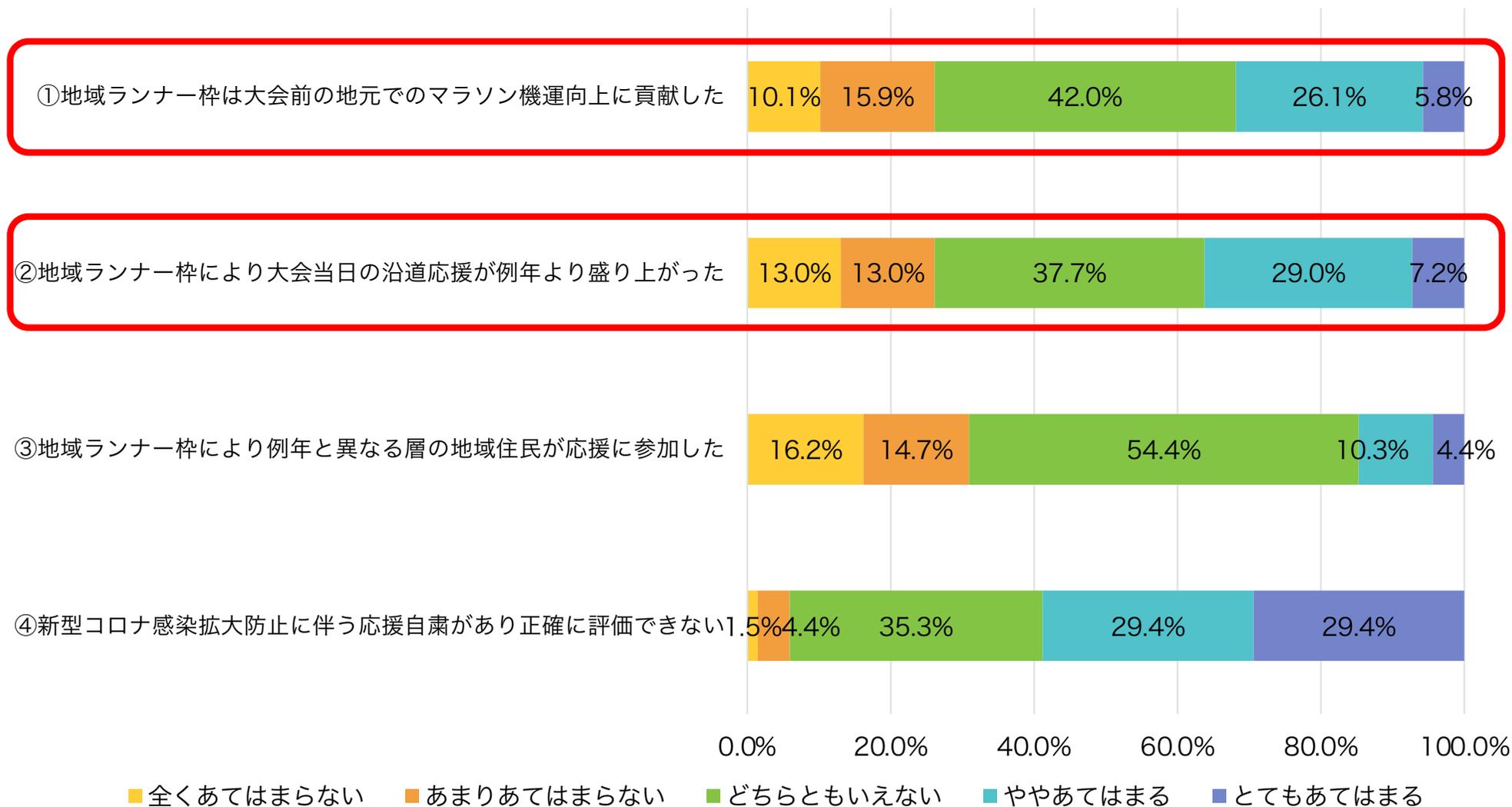
シールを貼っていただいたお礼とマラソンを走った慰労の意味で品物と令状を届けた。

知り合いには労いの声をかける。

「地域ランナー枠」の効果（各校下（地域）関係者，2021大会,n=93）



「地域ランナー枠」の効果（各校下（地域）関係者，2022大会,n=76）



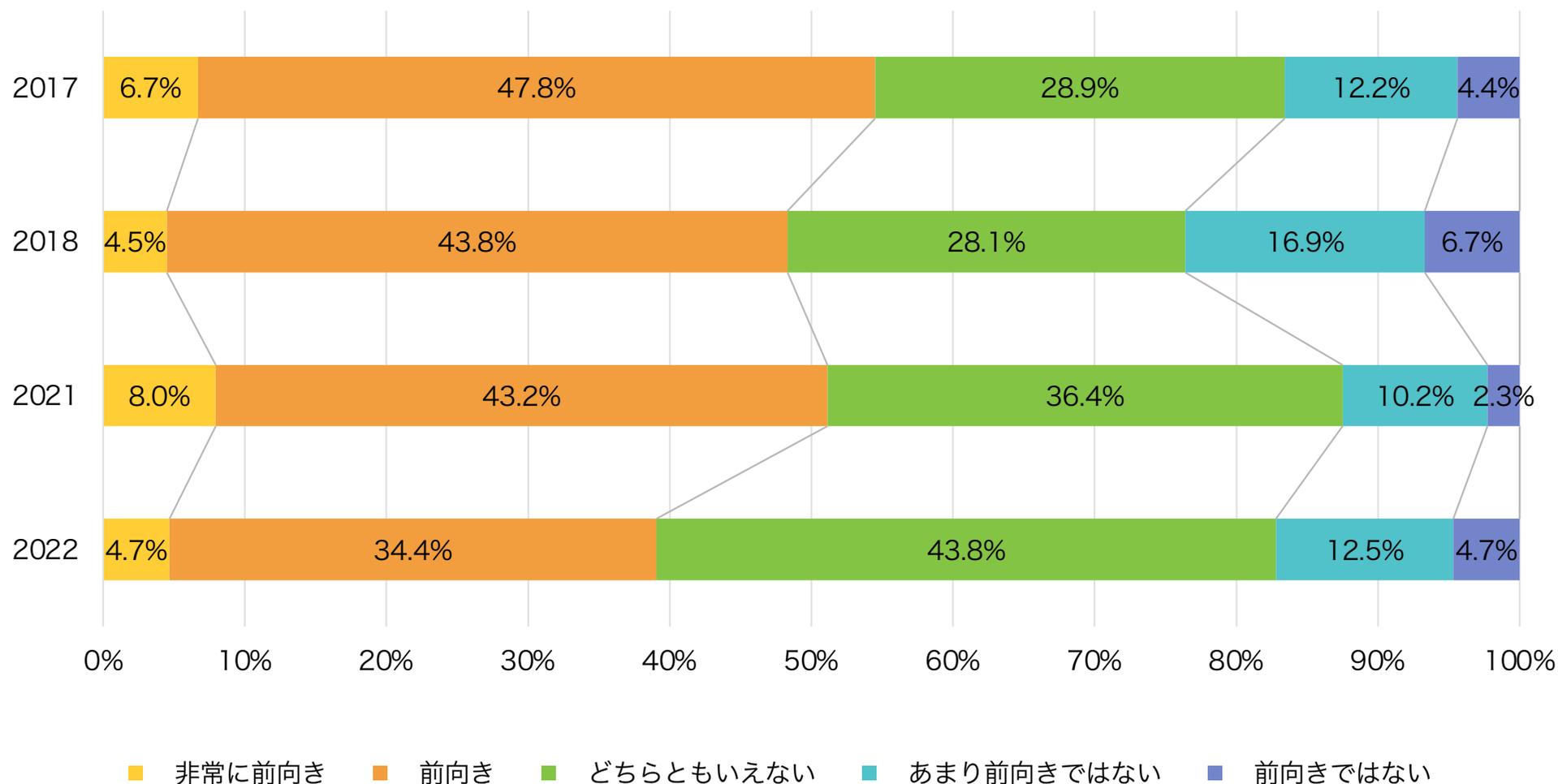
「地域ランナー枠」は機運向上、沿道応援の盛り上がり貢献の傾向↑

(各校下(地域)関係者)

「地域ランナー枠」や「地域ランナー経験者」を今後の地域活動で有効活用するためのアイデア・意見(自由記述より抜粋)

- ・地域への貢献度を加味して選考してはどうか? 地域ランナー枠選出の方法を考えなければならない。
- ・マラソンに参加したいだけなのでは。地元(準備期間)や応援時も含め連絡あいさつは一人もない。(町会推薦枠とかなら違うが意味がない) 地元団体でのボランティア活動を参加条件に入れるなど。
- ・地域ランナーの走っている状況(どこを走っているか)が把握できるとよい。
- ・ゼッケン文字が小さく見届けるに大変だった。
- ・地域ランナーであることが分かるようにゼッケンより文字を大きくするなどの工夫が必要だと思います。
- ・地域ランナー枠は地域の人材発掘につながる。
- ・地域ランナーが多ければ応援に力が入る。地域ランナー枠はできるだけ増やした方がよい。
- ・広報に載せてランナー経験者の一声をきかせてほしい。
- ・地域ランナーの応募についてあまり認知がされていないように思うのでもっと知られてほしいと思います。「経験者の語る会」などお話が聞けたら面白そうです。
- ・地域ランナー交流会の企画。年度ごとに地域ランナー名簿(プレート等)作成。
- ・HPやSNSを活用しPRメッセージをのせ校下を県外参加ランナーに見てもらえるようにしてはどうか? 校下の名前を見てもわからないと思うのでマップも載せてはどうだろうか。
- ・地域ランナー枠を無料に。
- ・ランナーが申込時に地域ランナー枠にチェックを入れるのがわかりづらかったとの声を聞きました。ほとんどのランナーは制度自体も理解していないと思います。
- ・地域ランナーがどんな人かわからない方もいるので活用するすべはない。
- ・地域ランナー枠のランナーに対して地域ランナーとの認識が持てない。
- ・有効活用? そんなことができるだろうか? 地域ランナー枠を希望しても参加できるかどうかわからないのに。

今後の金沢マラソンへの運営協力意欲 (各校下（地域）関係者, 2022大会,n=76)



2021→2022で傾向、アフターコロナがどう影響するか？

(各校下 (地域) 関係者)
 今後の運営協力について【理由：自由記述より抜粋】

非常に前向き／前向き	どちらともいえない／あまり前向きではない ／前向きではない
<ul style="list-style-type: none"> ・かかわることができて楽しかったがもっと外に向けてのメッセージを発信しても良いのではないか？ITを活用し金沢らしい先を走る活動運営に期待する。 ・一番地域活性化を望んでいます。 ・コースが通り、応援スポットがあるため、地域住民の連携や協力、親睦に資することができるため。 ・出演団体のパフォーマンス披露の場としての役割と地域住民が集って応援できる場として今後も活かしたい。 ・そろそろアフターコロナ（ウィズコロナ）を考えるべき。自粛要請はやめては？ ・初期のようにハイタッチや大声で応援ができれば変わると思われる。 ・私自身も3回金沢マラソンを走っているので可能な協力はなんでもしたいと思っている。コロナ禍で応援を呼びかけられず盛り上げにくい。 ・知り合いのランナーより「応援がとてもうれしかった」と言われたり走っている最中にランナーから「ありがとう！」を言われたり手を振られたりして、ますます応援しよう！という思いがでてきます。 ・金沢市の行事なので前向きに協力。 ・金沢市全体の年中行事として定着すればよい。様々な方法で多くの市民が協力できればよいかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動とは少し離れた活動に思えます。 ・公民館（館長や委員）が動員されるのは反対です。どちらかといえば町連と市職員の仕事だと思う。（市職員全員がボランティアで出務すべきと考えます。） ・応援に人数を指定されて、動員されている感がいなめない。 ・拒否権がありません。 ・運営協力金が少なく謝礼できない。 ・協力については否定するわけではないがほかの地区のとりまとめについてルールが明確でなく当地区が長年取りまとめしており負担となっている。 ・本業も忙しい中での運営対応している。もっと前向きな民間団体に応援スポットをまかせてもいいのでは？もう何回も協力しているのだからそろそろ開放してほしい。 ・同じ時期に自館の行事が続くので休みなく出勤することになる。体が疲れています。 ・コースが地元を通らない為。 ・地域がコース以外なので地元住民に負担となる事。盛り上がりがない！ ・地元と違う応援スポットでの応援はいかがなものか！ ・これまですべて参加してきたので校下よりコースを変更していただきたい。 ・金沢マラソンがまだ市民活動になっていない

まとめ・考察

【リサーチクエッション（検討課題）への回答】

- 1) どんな人が「地域ランナー枠」で走ったのか？
 - > 大多数は「とにかく金沢マラソンに出たい」人だが、「地元地域を代表して走ってみたい」層は増加傾向。
 - > 8割以上は過去に金沢マラソンへの出走経験があった。
 - 58.6%が2021大会からの連続参加者、15.2%が「地域ランナーとして」リピート参加

- 2) 「地域ランナー枠」で参加したランナーはどのような感想を抱いたのか？
 - > 大会に参加できたこと自体に満足していた。
 - > 90.3%が「地域ランナー」としての再参加を希望している。
 - > 地元の代表という意識を育み地元への愛着を高めていた。
 - > 今後の地域行事への参加意欲に対する貢献もあった。
 - > 思ったよりも地域からの応援・反響が少なく寂しさを覚えている声もあった。

- 3) 各校下（地区）は「地域ランナー枠」をどのように受け止めたのか？
 - > 地元地域での「地域ランナー枠」への認識は初年度に比較して高まっていた。
 - > 地元地域での波及効果への期待も微増傾向にあった。
 - > 「地域ランナー枠」は大会機運醸成、沿道応援の盛り上がりにより貢献の傾向↑
 - > ステッカー配布、メッセージボード／横断幕など創意工夫があった（格差あり）
 - > 「大会後」の動きや関わりはほとんど見られなかった。

提言

1) 「地域ランナー枠」のコンセプトの明確化

- △ 地域の功労者であることを理由に選出されたランナー
- 金沢マラソン参加を契機に地域との関係を深めていくランナー

2) 各町会での事前PR（広報）戦略

- ・ 地域ランナーの地域内での周知を通じて大会の機運醸成につなげる。
- ・ 同時に地域ランナー自身が地域ランナーとしての自覚を高めることになる。
- ・ 社会体育大会等既存行事での壮行会・選手紹介等が人材の発掘につながる。

3) 各町会での事後（出口）戦略

- ・ 地域ランナー枠での出走ランナーが大会後に地域行事に参加しやすくなるような声かけ、運営の工夫を図ることで人材発掘・活用につなげる。
- ・ 地域ランナー経験者に応援スポットの実行委員会にオブザーバー、アドバイザーとして参画してもらおう。
- ・ 地域ランナー間の交流機会（練習会）をつくることで関わりやすさが増す。新たなランニング希望者を募るような地域イベントが生まれる可能性。

4) 各町会間での「地域ランナー枠」活用策のアイディア共有

- ・ 各町会での地域ランナー枠を活用した取組み状況の共有や情報交換会を開催する。（案「金沢マラソンによる地域コミュニティ活性化フォーラム」）

Since 1932

星稜

調査にご協力いただいた皆様に
厚く御礼申し上げます。

金沢星稜大学
(金沢マラソン検証研究グループ)

西村 貴之 、 池田 幸應

